

資料2

「平成26年度県民の幸福に関する意識調査」
報 告 書

熊 本 県

目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査項目	1
	(3) 標本抽出法	1
	(4) 調査方法	1
	(5) 設定標本数と回収標本数	2
	(6) 調査時期	2
2	調査項目	3
3	調査結果	4
	(1) 全体集計結果・分析	4
	(2) クロス集計結果・分析	15
	(3) 属性	36

1 調査の概要

(1) 調査目的

県民幸福量を測る総合指標としての「県民総幸福量(AKH)」の算出に必要なデータを収集する。

(2) 調査項目

県内在住の20歳以上の男女

(3) 標本抽出法

「地域によって求める幸福の形は異なる」との認識のもと、地域ごとに精度の高い分析を行うため、平成24年度の抽出法()に ・ のステップを加えて、設定標本数3500人分の抽出を行った。

【具体的な抽出法】

県内全市町村の満20歳以上の男女の人口構成比により標本数3000人を按分して市町村ごとの標本数を決定し、各市町村の住民基本台帳に基づき無作為抽出。

各市町村を下記の11地域に分類した場合、回収率を50%とおいたときに、1地域で96人()の回収に満たない地域が想定されるため、追加500人分を不足する地域に男女比・人口比で按分して割り付け。

信頼度95%で誤差±10%を想定

当該地域内の市町村ごとに男女別で無作為抽出。

表：11地域の内訳

熊本	熊本市	阿蘇	阿蘇市	芦北	水俣市
宇城	宇土市 宇城市 美里町		南小国町 小国町 産山村 高森町		芦北町 津奈木町
玉名	荒尾市 玉名市 玉東町 南関町 長洲町 和水町	上益城	西原村 南阿蘇村 御船町 嘉島町 益城町 甲佐町 山都町	球磨	人吉市 錦町 あさぎり町 多良木町 湯前町 水上村 相良村 五木村 山江村 球磨村
鹿本	山鹿市		八代市 氷川町		天草

印の地域が人口比より多めに調査票を割り付けた地域

(4) 調査方法

郵送調査法

(5) 設定標本数と回収標本数

3 5 0 0 人設定 1 7 6 3 人回収 回収率 5 0 . 4 %

(6) 調査時期

平成 2 6 年 5 月 2 6 日 ~ 平成 2 6 年 6 月 9 日

但し、6 月 3 0 日に配達されたものまで有効とした。

集計上の注意点

標本を人口比より多めに設定した地域が 6 地域存在するため、県全体や性別、年齢階層別、職業別の分析には、これらの地域の回答が多めに反映されることとなる。

その影響を回避するとともに、平成 2 4 ・ 2 5 年度との比較が可能となるように、県全体、性別、年齢階層別、職業別の集計にあたり、多めに設定した 6 地域については、3 0 0 0 人で設定した場合の回収目標数になるように、回答データを等間隔抽出により削減した。

従って、クロス集計の地域別のみが 3 5 0 0 人で設定した際の回収数で集計している。

注)等間隔抽出とは、ある集団から標本を抽出する際に、集団に属する個々に通し番号を振り、必要な標本数を満たすように 1 0 件おき、2 0 件おきなど、等間隔で抽出する方法。

端数処理について

「(1) 全体集計結果・分析」及び「(2) クロス集計結果・分析」の「問 1」「問 8 」、 「(3) 属性」の集計結果は、小数点第二位を四捨五入しているため、回答割合の合計が 100% にならない場合もある。

また、「(2) クロス集計結果・分析」の「問 2」の集計結果は、小数点第三位を四捨五入しているため、4 つの分類のウエイトの合計が「1 0」点にならない場合もある。

2 調査項目

調査項目は以下の4項目である。

[問1] 直観的な幸福度について

現在の「直観的な幸福度」について、「感じている」「やや感じている」「どちらでもない」「どちらかといえば感じていない」「感じていない」の5段階で質問。

[問2] “4つの分類”のウエイト(重要度)について

幸福要因の“4つの分類”(「夢を持っている」「誇りがある」「経済的な安定」「将来に不安がない」)について、幸福の全体を「10」点とした場合に、それぞれのウエイト(どれを重視するか)の度合い、重要度が何点になるのかを質問。

[問3] “12の項目”に関する満足度(実感や考え)について

“12の項目”に関し、それらに対する実感や考え方を5段階(「感じている」～「感じていない」または「持っている」～「持っていない」)で質問。

なお、この問で把握する実感や考えを回答者の「満足度」と捉えている。

[問8] 「しあわせ部」の活動の認知度について

「しあわせ部」の活動について、認知度を4段階(「知っており、活動内容もよく分かっている」「知っており、ある程度の活動内容は分かっている」「知っているが、活動内容までは分かっていない」「全く知らない」)で質問。

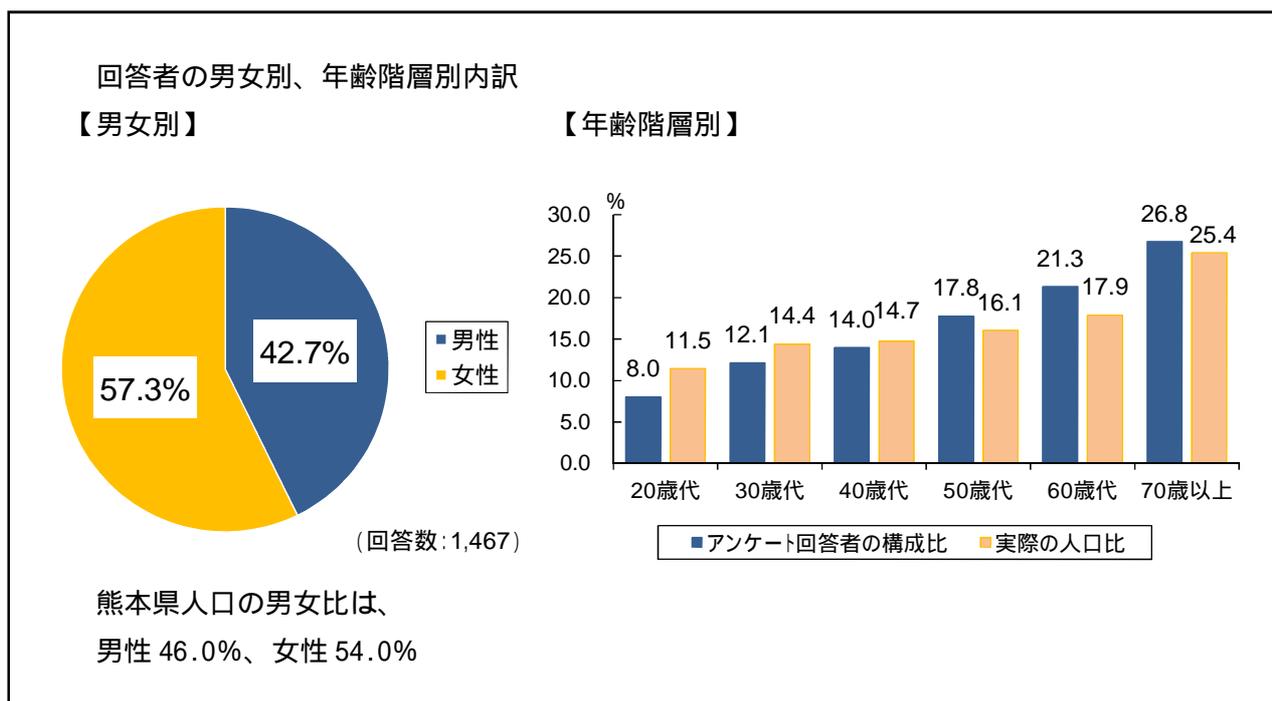
【属性】 [問4] 性別、[問5] 年代、[問6] 居住地、[問7] 職業

3 調査結果

(1) 全体集計結果・分析

男女別及び年齢階層別の内訳は、以下のグラフのとおりである。男女別では、女性の回答が多かった。また、年齢階層別では、実際の熊本県人口構成比（平成25年）と比べ、50歳以上の方からの回答が多かった。

注) 人口比より多めに設定した6地域の影響をなくした1,478人の標本により集計。



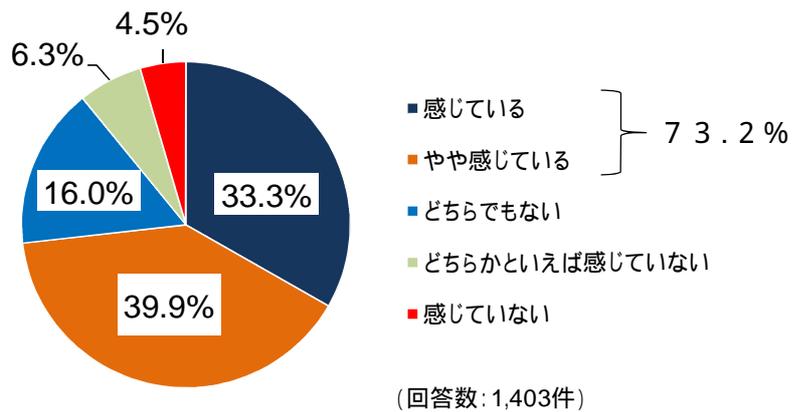
各問及びその回答は次ページ以降のとおりである。

なお、いずれも無回答者の数を除いて集計した結果である。

問1 直観的な幸福度について

問1では、現在の端的に幸せと感じているかという「直観的な幸福度」を5段階評価で質問した。その結果は以下のとおりである。

現在、あなたは幸せだと感じていますか。
最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「 」をつけてください。



「感じている」と回答した人は33.3%で3人に1人。

「感じている」及び「やや感じている」を合計した「幸福」だと感じている割合は73.2%で、4人に3人。

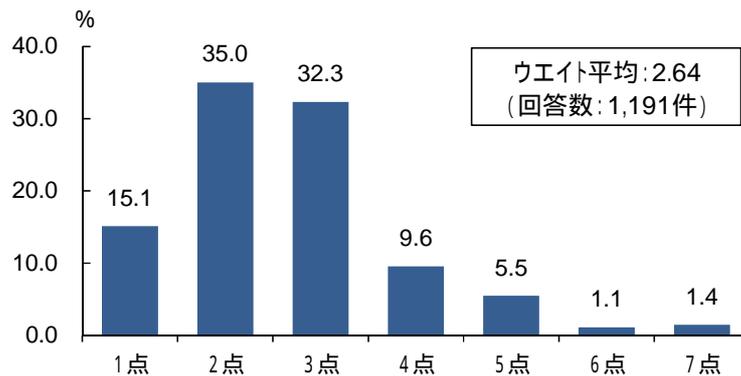
問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

問2では、幸福要因の“4つの分類”(「A 夢を持っている」「B 誇りがある」「C 経済的な安定」「D 将来に不安がない)について、幸福の全体を「10」点としたとき、AからDのウエイト(どれを重視するか degree、重要度)がそれぞれ何点になるのかを質問した。なお、集計に際しては“4つの分類”のすべてに1以上のウエイトがつけられ、かつ合計が10点となった回答を対象とし、有効回答数は1,191件であった。

あなたの幸福の全体を「10」点としたとき、A～Dの“4つの分類”の重要度(どれを重視するか degree、ウエイト)は、それぞれ何点になりますか。

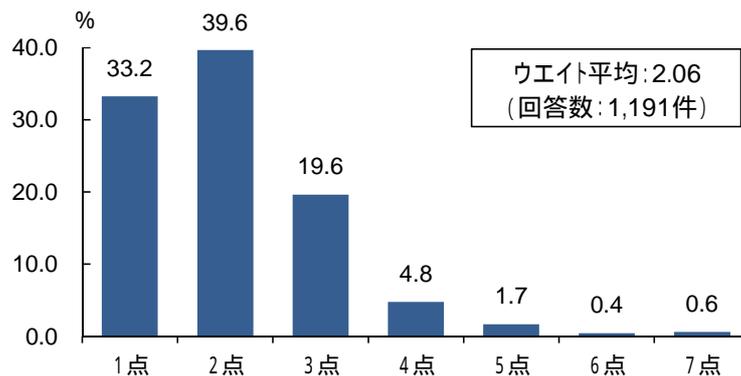
A 夢を持っている

項目：ア 家族関係 イ 仕事関係 ウ 教育環境



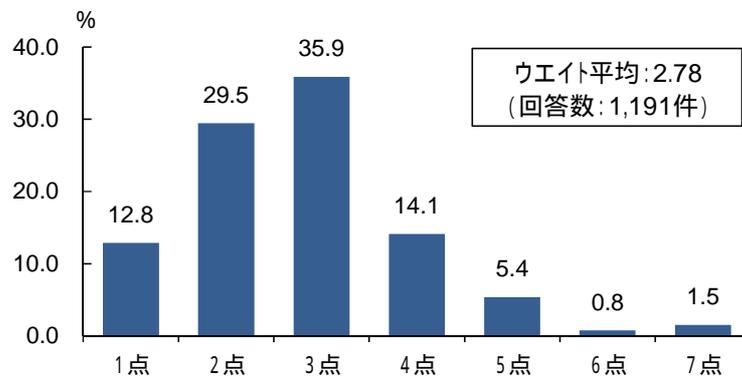
B 誇りがある

項目：ア 自然資源 イ 歴史・文化 ウ 地域社会とのつながり



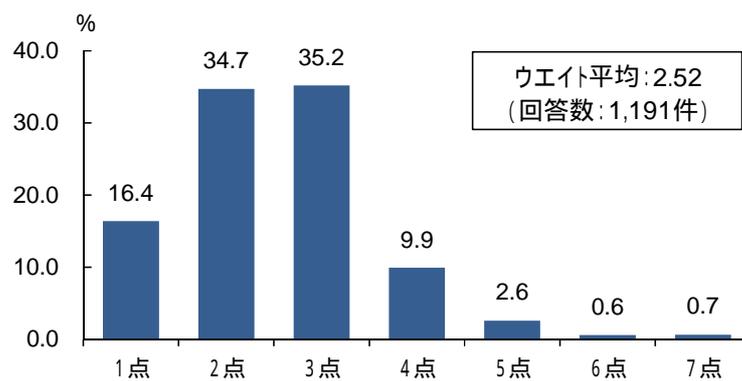
C 経済的な安定

ア 家計所得 イ消費活動 ウ住まい



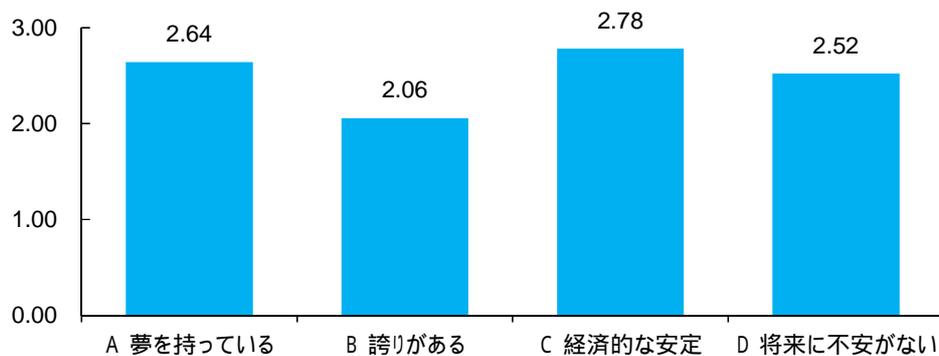
D 将来に不安がない

ア 心身の健康 イ食と生活環境の安全 ウ防災・治安



上記の“4つの分類”のウエイトを整理したのが次のグラフである。

< “4つの分類”のウエイトの平均値 >



問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

問3では、幸福要因の“12の項目”に関して、それぞれに対する実感や考えを5段階で答えてもらうよう質問した。

結果は次ページ以降の図のとおりである。

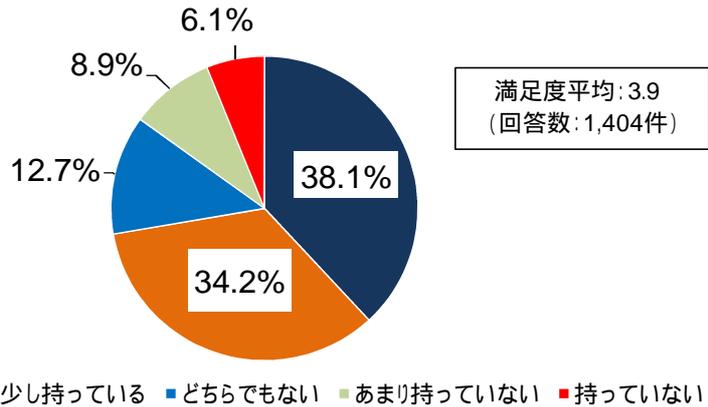
左の円グラフは、それぞれの回答数の割合を示している。また、右の「満足度平均」は、「感じている（または、「持っている」）」を5点、「やや感じている（または、「少し持っている」）」を4点、「どちらでもない」を3点、「あまり感じていない（または、「あまり持っていない」）」を2点、「感じていない（または、「持っていない」）」を1点として、それらの平均値（加重平均）を示している。なお、集計に際しては、“12の項目”のすべてに回答があったものを対象とし、有効回答数は1,404件であった。

次のそれぞれの項目について、最も当てはまるものを1つ選んで、番号に「 」をつけてください。

A 夢を持っている

ア 家族関係

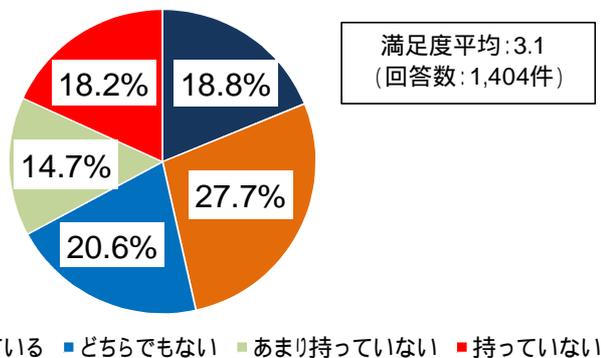
あなたは、家族で叶えたいことや、家族に叶えてもらいたいことなど、家族のことで将来の夢を持っていますか？



イ 仕事関係

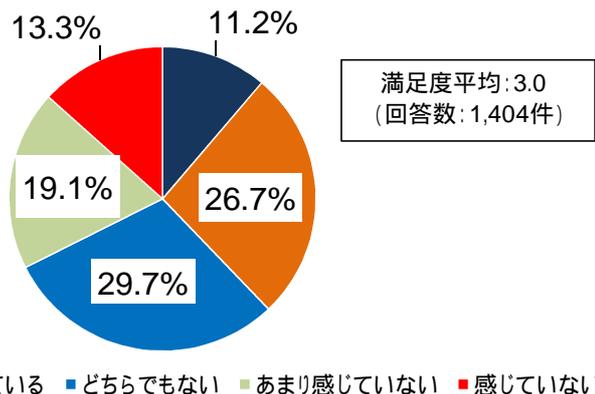
あなたは、仕事 のことで将来の夢を持っていますか？

仕事……パート・アルバイトや社会参加活動、ボランティア活動などを含む



ウ 教育環境

あなたは、将来の夢の実現に向けて学べる環境にあると感じていますか？

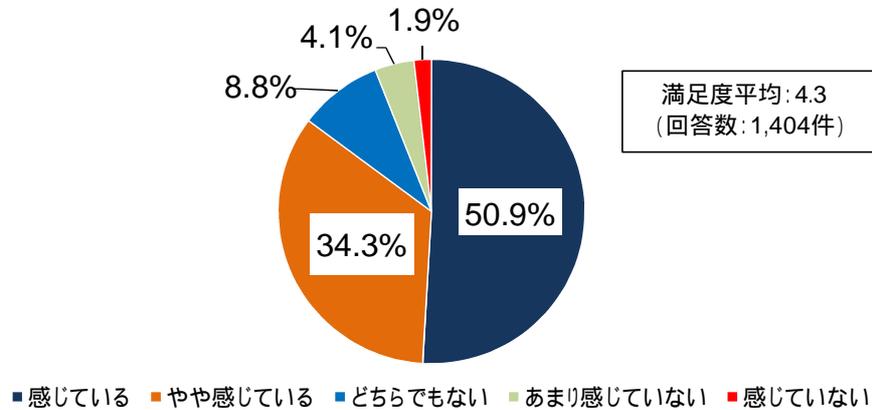


B 誇りがある

ア 自然資源

あなたは、地域の自然 を素晴らしいと感じていますか？

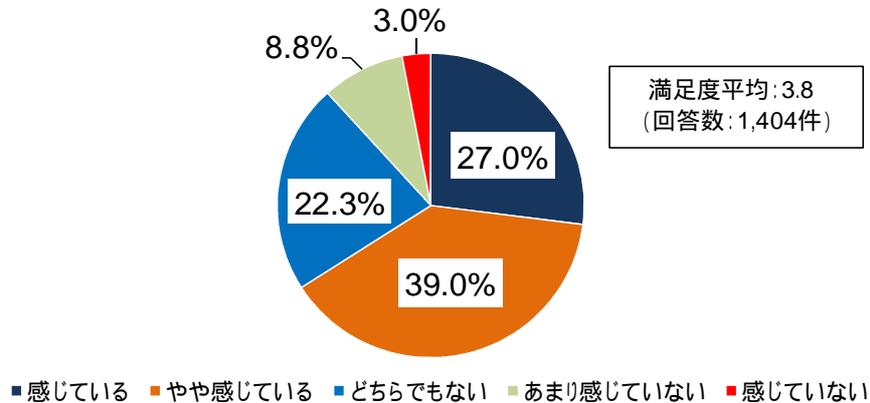
地域の自然……山、海、河川、森林など



イ 歴史・文化

あなたは、地域の歴史や文化 に誇りを感じていますか？

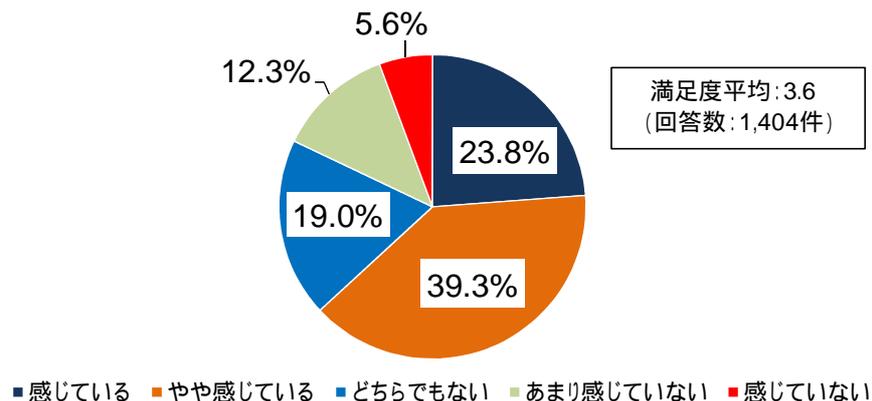
地域の歴史や文化……歴史的な建造物や史跡、伝統芸能、伝承文化、芸術文化など



ウ 地域社会とのつながり

あなたは、地域社会とのつながり を感じていますか？

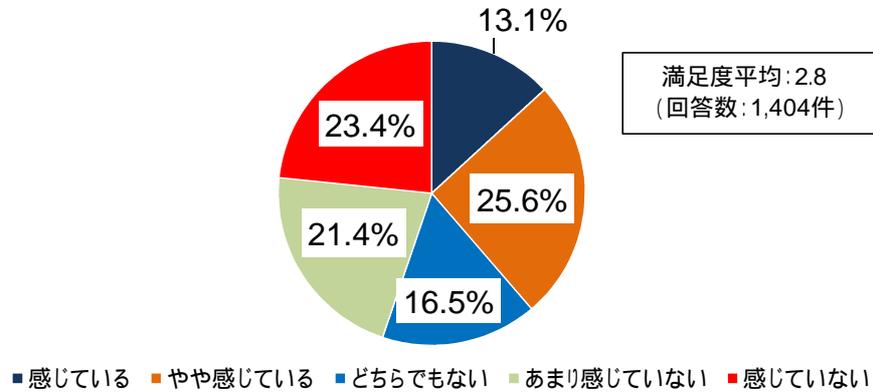
地域社会とのつながり……近所づきあい、地域の行事・ボランティア活動への参加、友人・知人との交流など



C 経済的な安定

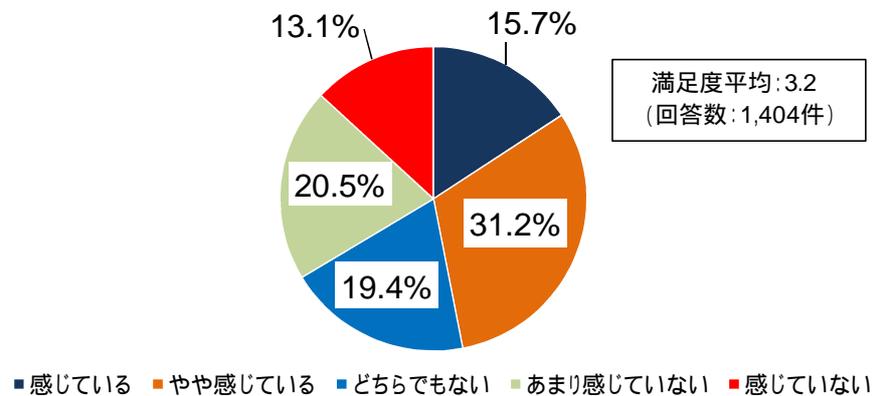
ア 家計所得

あなたは、必要な所得や収入が得られていると感じていますか？



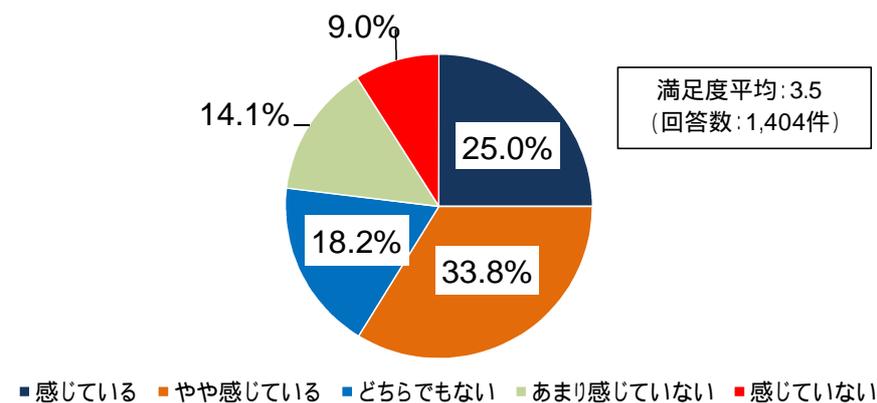
イ 消費活動

あなたは、必要なモノやサービスを購入できていると感じていますか？
サービス……レジャーや余暇活動を含む



ウ 住まい

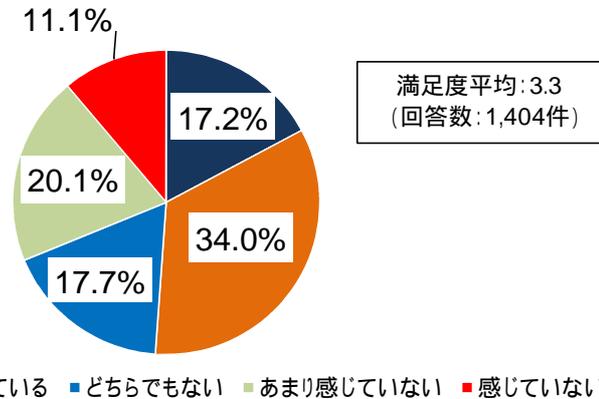
あなたは、今の住まいに快適さやゆとりを感じていますか？



D 将来に不安がない

ア 心身の健康

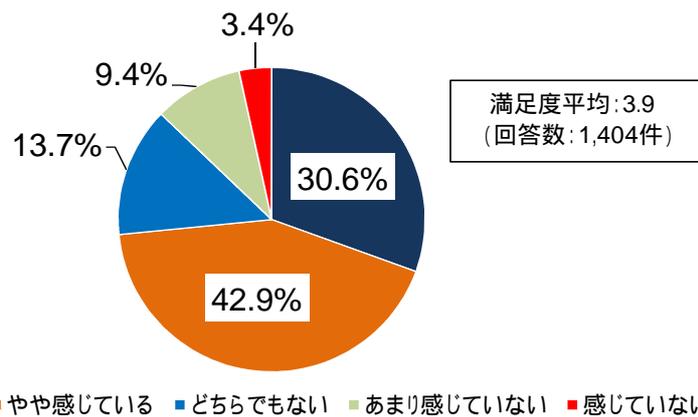
あなたは、こころやからだが健康だと感じていますか？



イ 食と生活環境の安全

あなたは、食べ物や地域の生活環境が安全だと感じていますか？

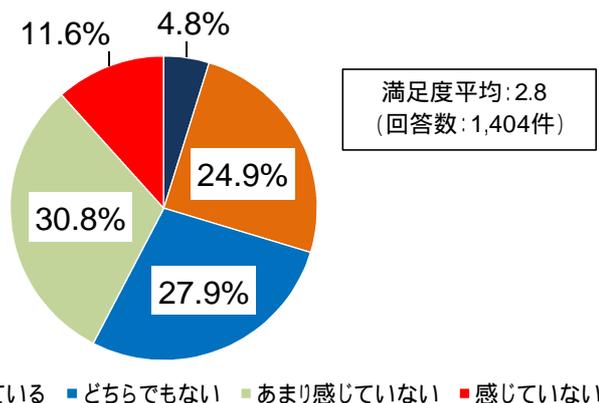
地域の生活環境が安全……水や空気がきれい、土壌が汚染されていない、騒音が少ないなど



ウ 防災・治安

あなたは、災害や防犯に対する備えができていると感じていますか？

災害や犯罪に対する備え……防災・防犯グッズの用意等の個人の取組み、見回り活動等の地域の取組み、ソフト・ハード面の行政の対策など



以上の結果を“4つの分類”毎に整理すると次のとおりとなる。

なお、それぞれの分類における各項目の満足度の順位は前年度と変わらなかった。

「A 夢を持っている」

「夢を持っている」に対する満足度では、「家族関係」が3.9で高く、「仕事関係」(3.1)と「教育関係」(3.0)は中央値程度にとどまる。

満足度が高い「家族関係」においては、「(家族のことで将来の夢を)持っている」と回答した人が38.1%を占め、「少し持っている」を加えると7割を超える。

「B 誇りがある」

「誇りがある」に対する満足度では、「自然資源」が4.3で特に高く、「歴史・文化」が3.8、「地域社会とのつながり」が3.6で、3項目ともに満足度が高い。

満足度が特に高い「自然資源」においては、「(地域の自然を素晴らしいと)感じている」と回答した人が半数を超え、「やや感じている」を含めると85.2%が「満足」を感じている。

「C 経済的な安定」

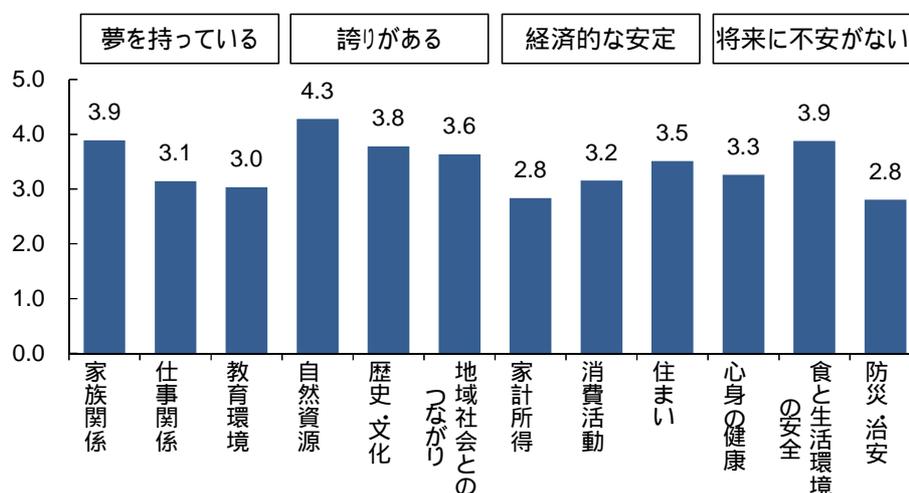
「経済的な安定」に対する満足度では、「住まい」が3.5、「消費活動」が3.2の順で、「家計所得」は2.8で中央値の3.0を下回る。

「家計所得」においては、「(必要な所得や収入が得られていると)感じている」の回答割合は13.1%、「やや感じている」を含めても38.7%にとどまり、収入に対する満足度は低いことがうかがえる。

「D 将来に不安がない」

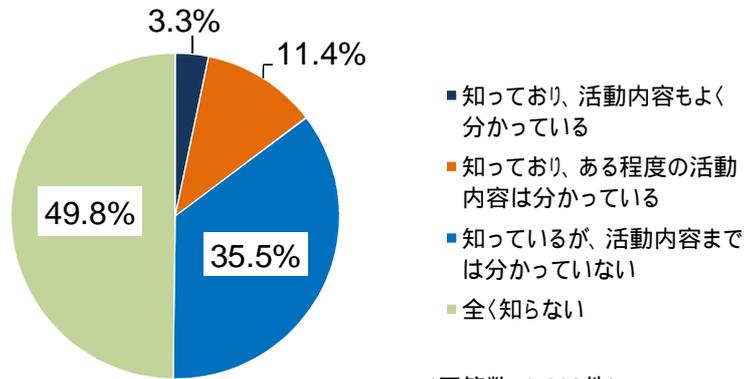
「将来に不安がない」に対する満足度では、「食と生活環境の安全」が3.9で高く、「心身の健康」が3.3で中央値を上回り、「防災・治安」は2.8で中央値を下回る。

「防災・治安」においては、「(災害や防災に対する備えができていないと)感じている」の回答割合は4.8%のみで、「やや感じている」を含めても29.7%にとどまる。



問8 「しあわせ部」の活動の認知度について

問8では、「しあわせ部」の活動について、認知度を4段階で答えてもらうよう質問した。結果は以下のとおりである。



「知っており、活動内容もよく分かっている」と回答した人の割合は3.3%、「知っており、ある程度の活動内容は分かっている」が11.4%で、合わせると“ある程度の活動内容が分かっている”人は14.7%で、7人に1人の割合にとどまる。

これに対して、「知っているが、活動内容までは分かっている」が35.5%を占め、「しあわせ部」を“知っている”人は合わせて50.2%。「全く知らない」が49.8%。

(2) クロス集計結果・分析

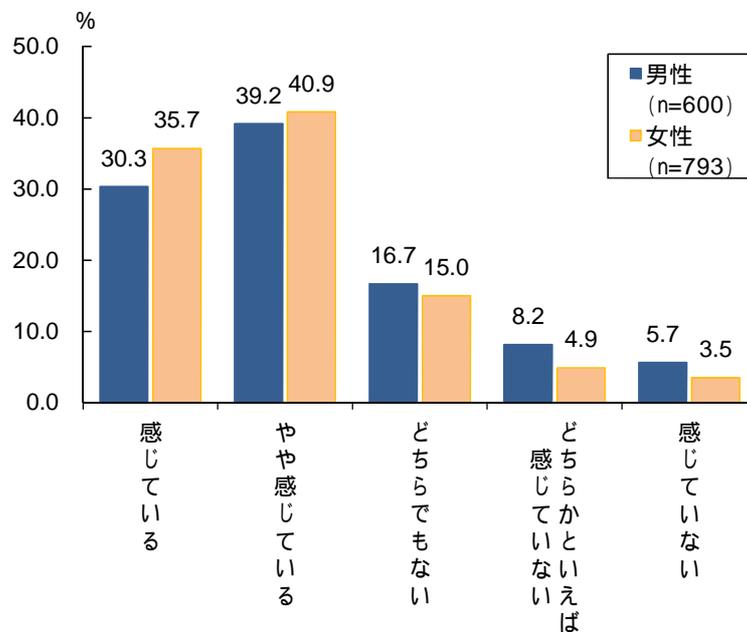
男女別、年齢階層別、地域（居住地）別、職業別にクロス集計を行った。

なお、集計に際しては、設問ごとに回答されたすべてを対象とした。このため、回答数がそれぞれ異なっている。

また、地域別や職業別では、有効回答数が（特に）少ない区分があり、示された数値の誤差が大きくなる点に留意する必要がある。

男女別

問1 直観的な幸福度について



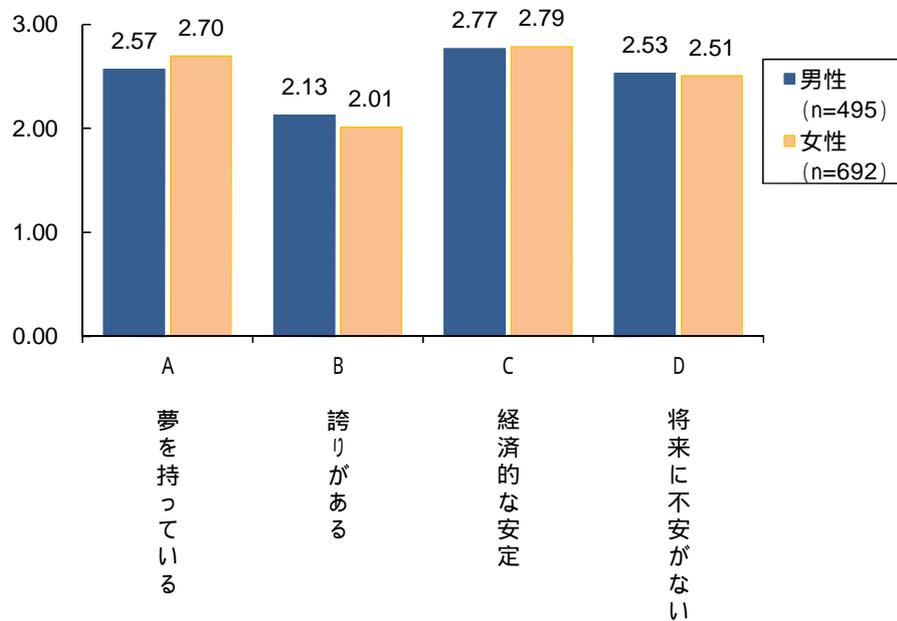
「感じている」の回答割合は、女性が男性を5.4ポイント上回る。

また、「感じている」と「やや感じている」を合わせた、「幸福」を感じている人の割合は、男性が69.5%、女性が76.6%で、女性が7.1ポイント上回る。

「幸福」を感じている人の割合について、女性が男性を上回るのは、前年度、前々年度と同様な結果であった。

問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について

“4つの分類”のウエイトの平均値は、次図のとおりである。



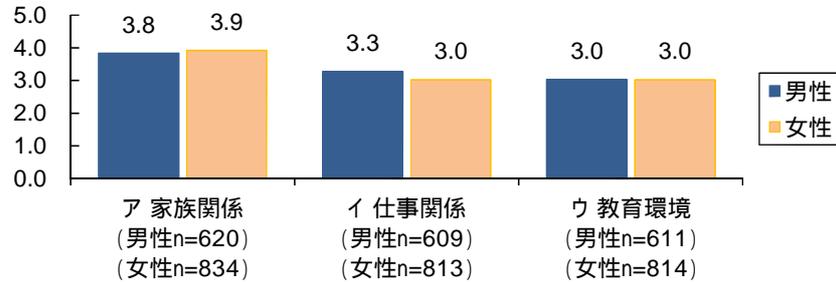
4つの分類のウエイトの平均値は、男女とも「経済的な安定」「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順で同じ。

分類別では、「夢を持っている」では女性が若干上回り、「誇りがある」では男性が上回る。「経済的な安定」と「将来に不安がない」ではほぼ同じ。

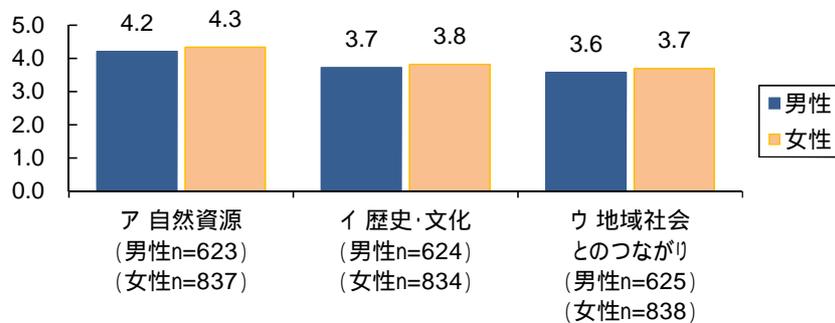
問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

幸福要因の“12の項目”について、それぞれの満足度の平均値は次図のとおりである。

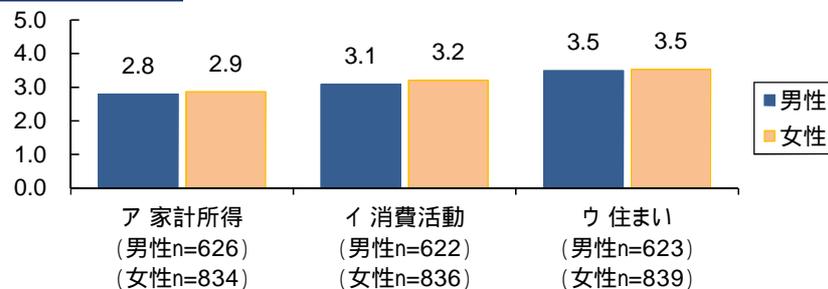
A 夢を持っている



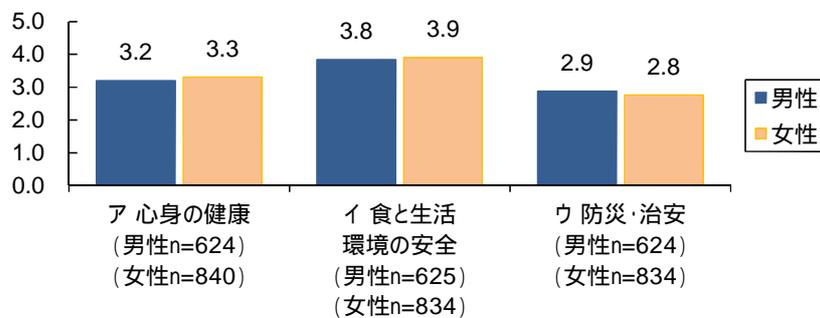
B 誇りがある



C 経済的な安定



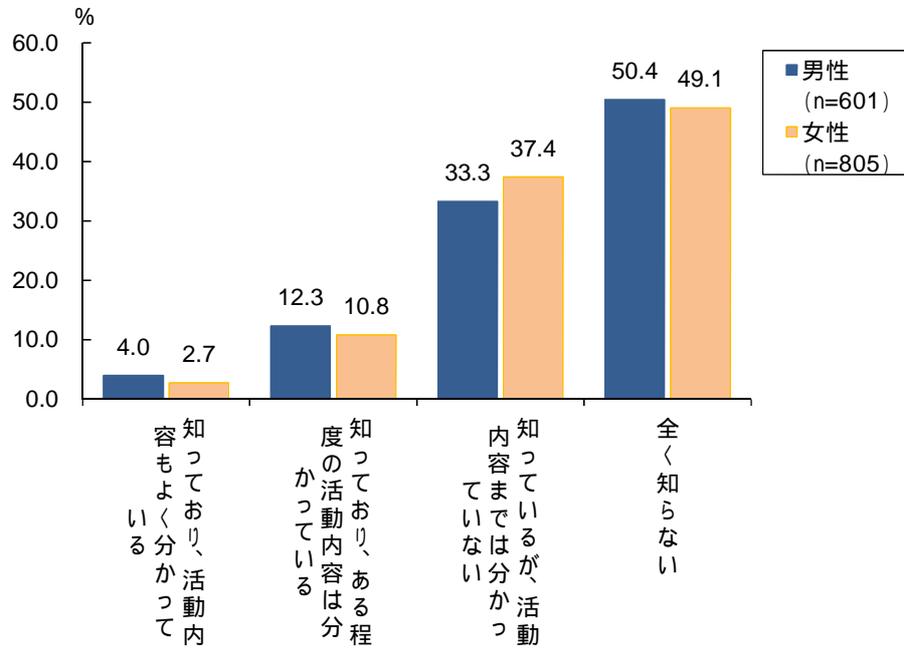
D 将来に不安がない



ほとんどの項目が同点か女性が0.1ポイント上回る。例外となるのが、「夢を持っている」の「仕事関係」の項目では0.3ポイント、「将来に不安がない」の「防災・治安」では0.1ポイント、ともに男性が上回る。

問8 「しあわせ部」の活動の認知度について

「しあわせ部」の活動の認知度は、次図のとおりである。

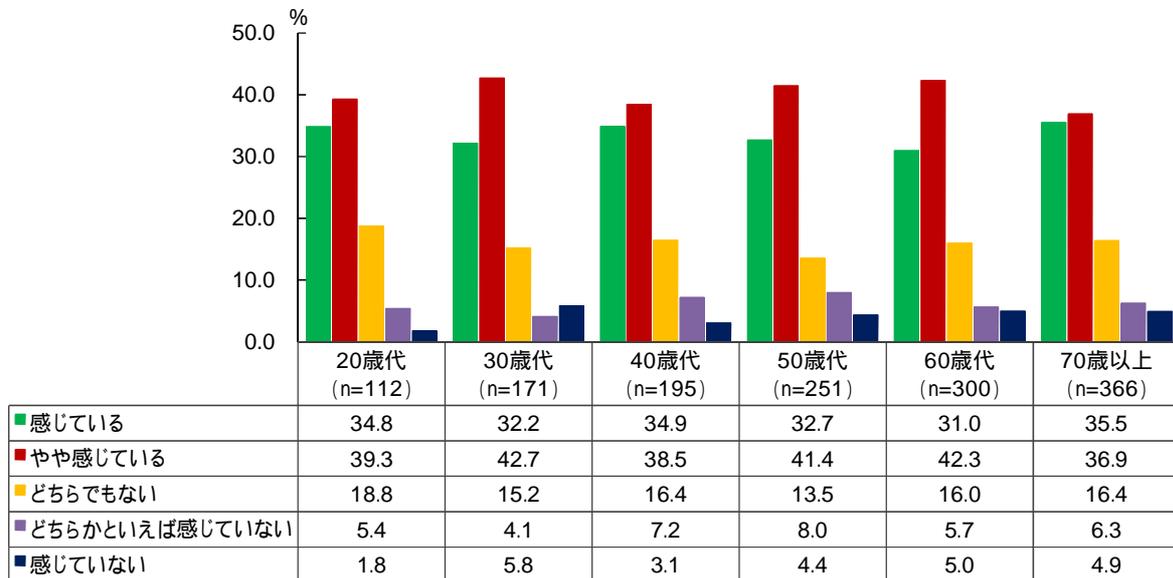


活動内容の認知度（「知っており、活動内容もよく分かっている」+「知っており、ある程度の活動内容は分かっている」）については、男性が 16.3%、女性が 13.5%で、男性が若干上回る。

また、「しあわせ部」の存在について“知っている”人は、男女とも 50%程度。男女間で大きな差はみられない。

年齢階層別

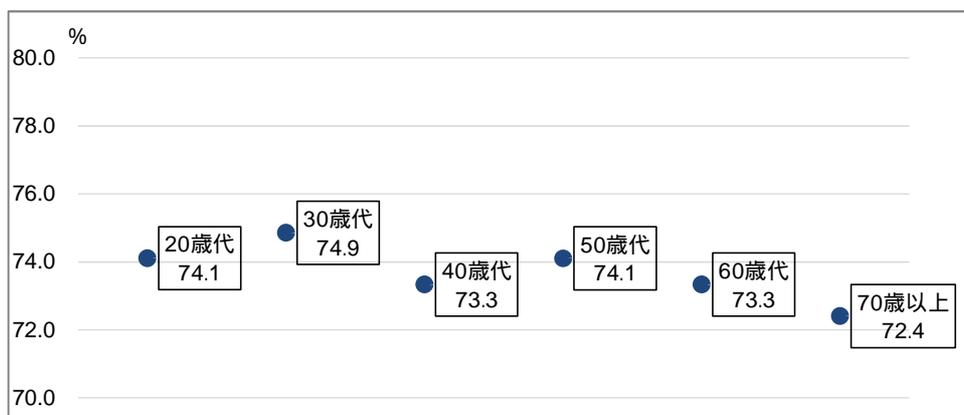
問1 直観的な幸福度について



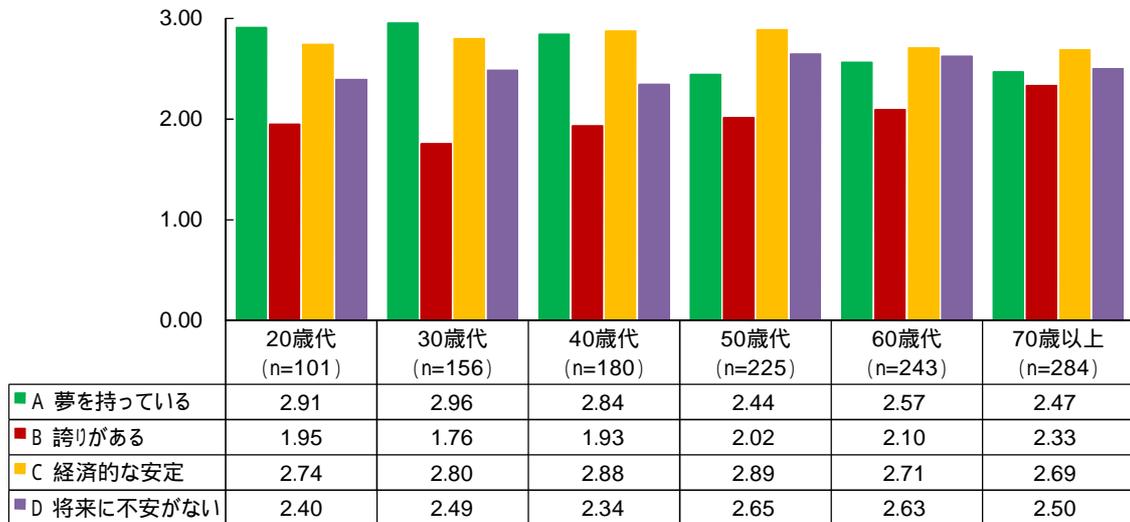
年齢階層別での直観的な幸福度については、「感じている」の回答は70歳以上が35.5%で最も高い。

また、「感じている」と「やや感じている」を合わせた、「幸福」だと感じている割合は、30歳代が74.9%で最も高い。しかし、すべての年代が70%台で大きな差はみられない。

【年齢階層別にみた「幸福」だと感じている割合】



問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について



20歳代と30歳代では、「夢を持っている」の重要度が最も高く、次いで「経済的な安定」が続く。

40歳代では、逆に「経済的な安定」が最も高く、「夢を持っている」が続く。

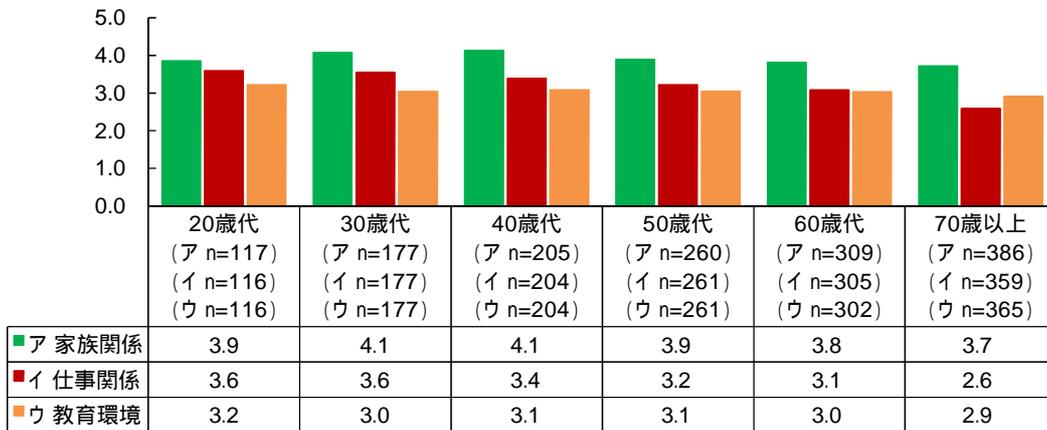
50歳代、60歳代、70歳以上では、「経済的な安定」が最も高く、「将来に不安がない」が続く。

類 型	年 代
[類型] 「 A 夢を持っている 」 「 C 経済的な安定 」 「 D 将来に不安がない 」 「 B 誇りがある 」	20歳代 30歳代
[類型] 「 C 経済的な安定 」 「 A 夢を持っている 」 「 D 将来に不安がない 」 「 B 誇りがある 」	40歳代
[類型] 「 C 経済的な安定 」 「 D 将来に不安がない 」 「 A 夢を持っている 」 「 B 誇りがある 」	50歳代 60歳代 70歳以上

問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を年齢階層別に比較した。

A 夢を持っている

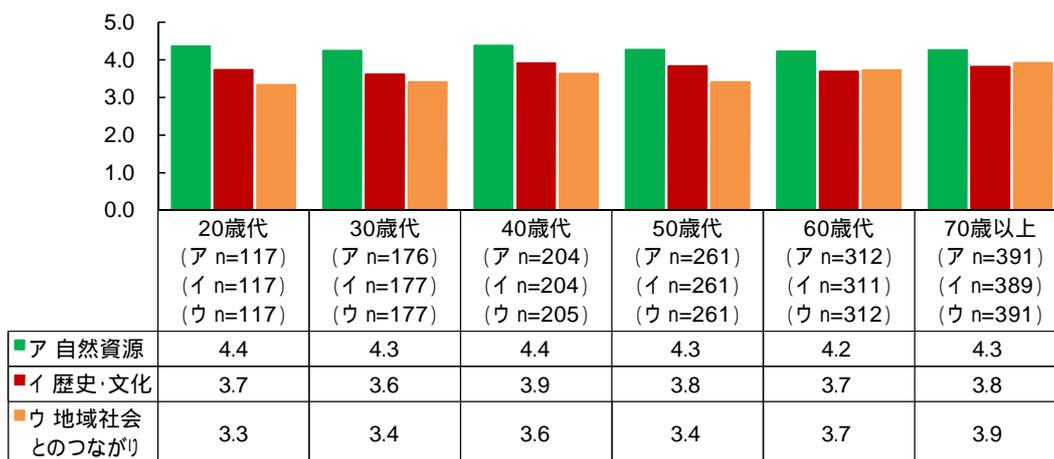


「家族関係」では、30歳代と40歳代が4.0を超え高い。

「仕事関係」では、20歳代と30歳代が他の年代と比べ高く、70歳以上が低い。

「教育環境」では、20歳代が若干高く70歳以上が若干低い大きな差はみられない。

B 誇りがある

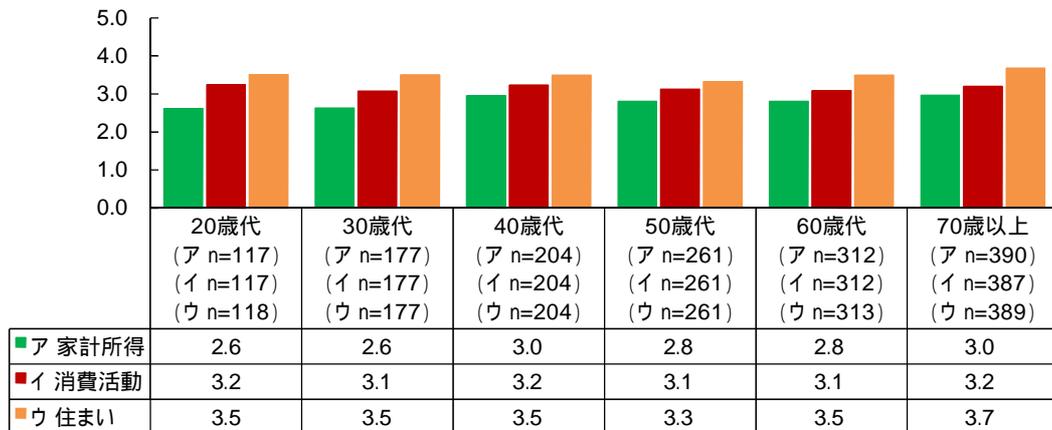


「自然資源」では、すべての年代で4.0を超え同様に高い。

「歴史・文化」では、40歳代が3.9で最も高く、概ね中高年層で高い傾向がみられる。

「地域社会とのつながり」では70歳以上が3.9で最も高く、60歳以上の高年層が高い傾向がみられる。

C 経済的な安定

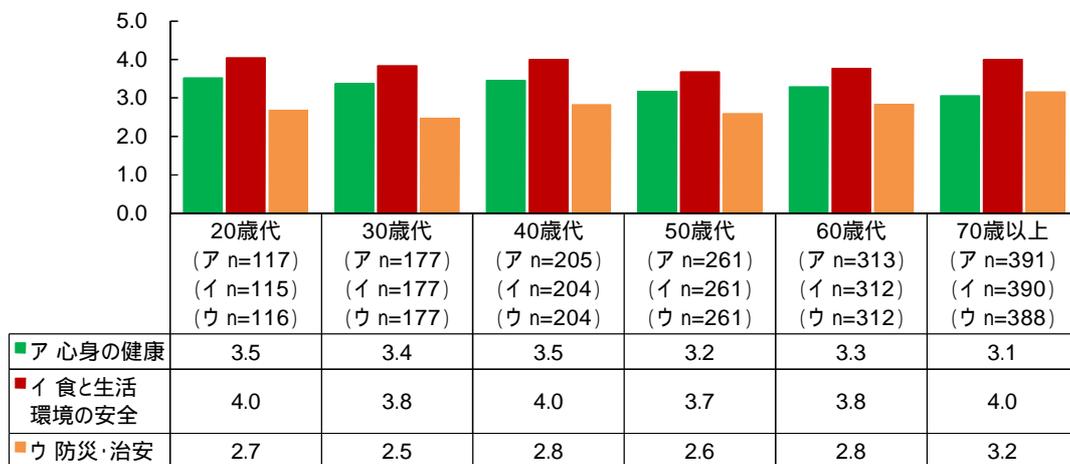


「家計所得」では、20歳代と30歳代の若年層が他の年代と比べ低い。

「消費行動」では、各年代で差はみられない。

「住まい」では、70歳以上が高く、50歳代が若干低い。

D 将来に不安がない

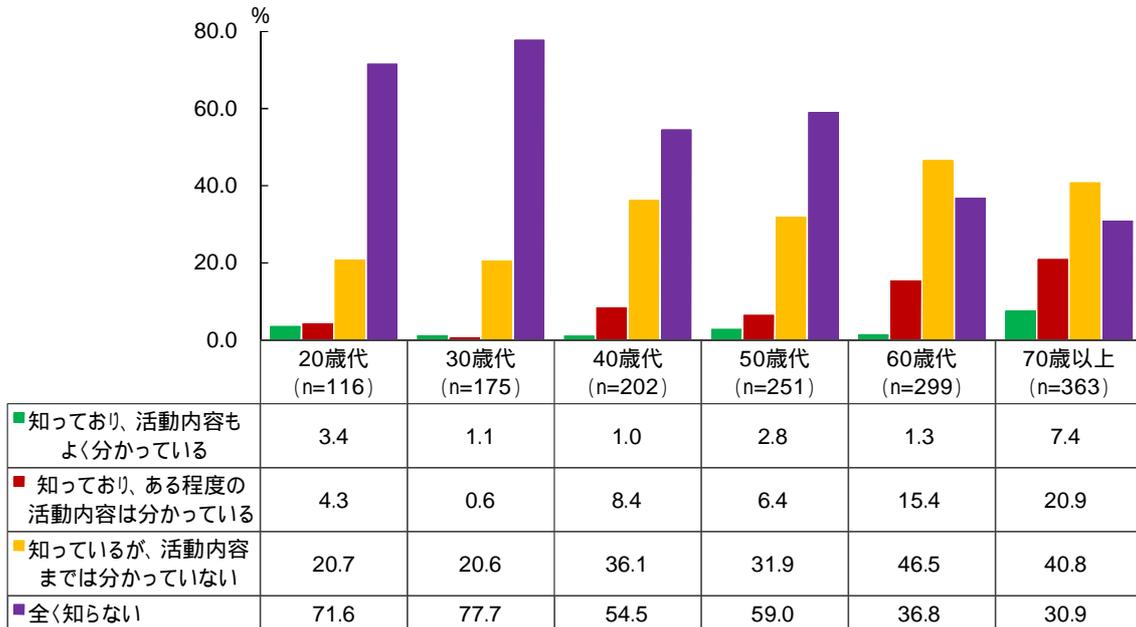


「心身の健康」では、20歳～40歳代の中若年層が高く、50歳以上の中高年層が低い結果となっている。

「食と生活環境の安全」では、50歳代で若干低いものの、各年代で大きな差はみられない。

「防災・治安」では、70歳以上が他の年代と比べて高く、20歳～60歳代は3.0未満。

問8 「しあわせ部」の活動の認知度について

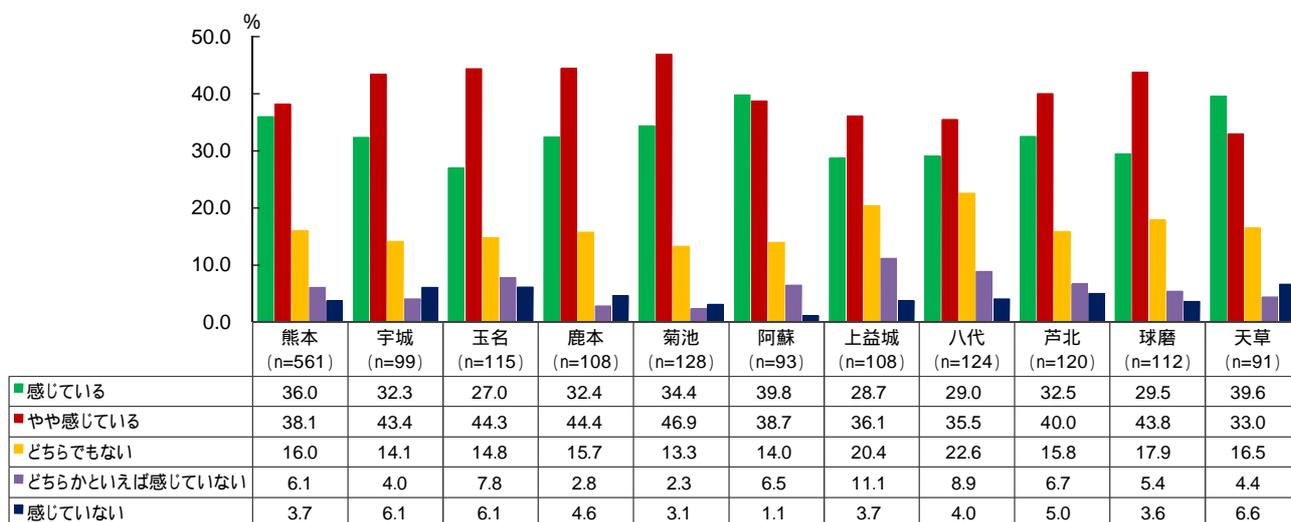


「しあわせ部」の活動内容についての認知度(「知っており、活動内容もよくわかっている」+「知っており、ある程度の活動内容は分かっている」)は、20～50歳代では10%未満、60歳代では10%台、70歳以上では20%台にとどまっている。

また、「しあわせ部」の存在について“知っている”人の割合は、20歳代と30歳代の若年層が20%台、40歳代と50歳代の中年層では40%台、60歳以上の高年層では60%台。

地域別

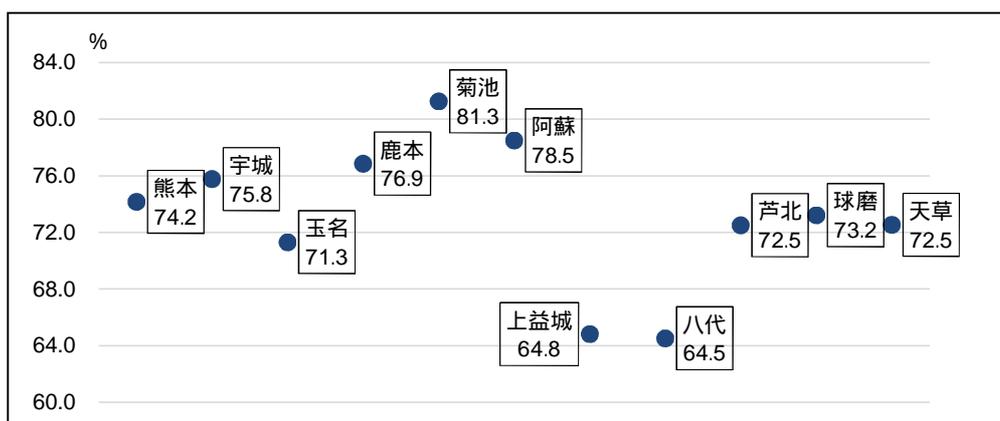
問1 直観的な幸福度について



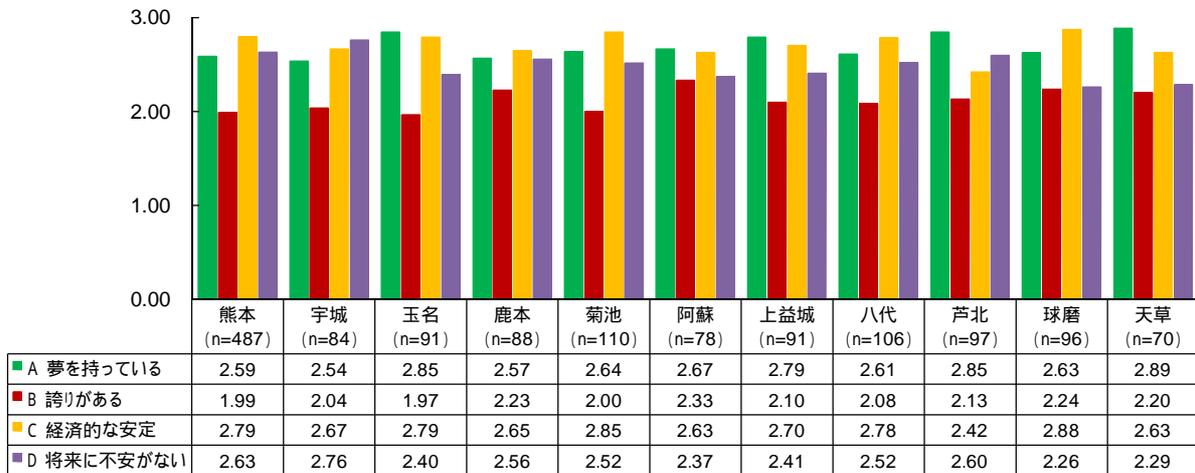
「感じている」の回答割合は、阿蘇が最も高く 39.8%、これに対して玉名が最も低く 27.0%。

「幸福」だと感じている割合（「感じている」 + 「やや感じている」）は、菊池が最も高く 81.3%、次いで阿蘇が 78.5% の順。逆に割合が低いのは、八代が 64.5%、上益城が 64.8%。

【地域別にみた「幸福」だと感じている割合】



問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について



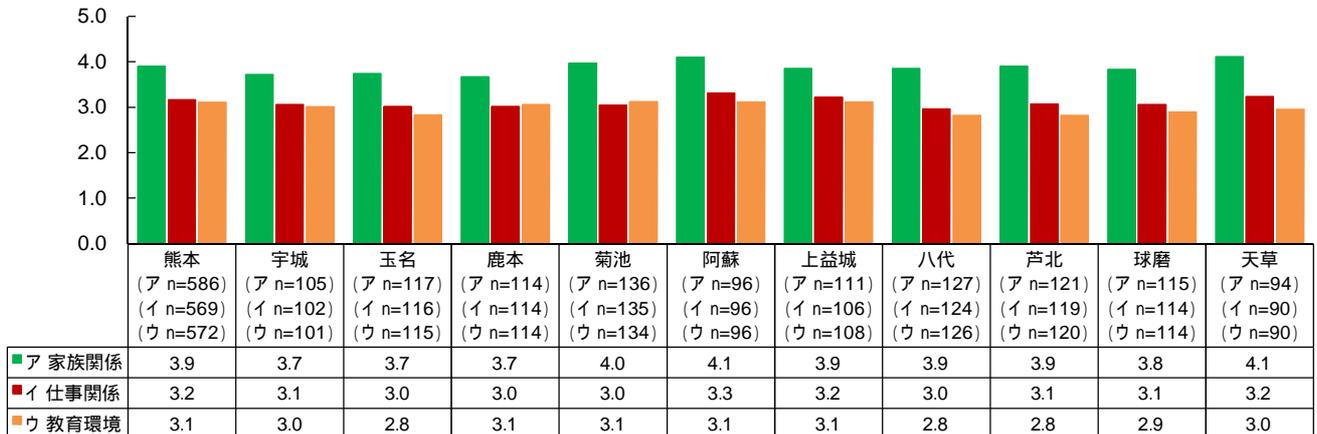
ウエイトの高さの順に11地域を整理すると、下表のようになった。

類 型	地 域
[類型] 「 A 夢を持っている 」 「 C 経済的な安定 」 「 D 将来に不安がない 」 「 B 誇りがある 」	玉名 阿蘇 上益城 天草
[類型] 「 C 経済的な安定 」 「 A 夢を持っている 」 「 D 将来に不安がない 」 「 B 誇りがある 」	鹿本 菊池 八代 球磨
[類型] 「 C 経済的な安定 」 「 D 将来に不安がない 」 「 A 夢を持っている 」 「 B 誇りがある 」	熊本
[類型] 「 A 夢を持っている 」 「 D 将来に不安がない 」 「 C 経済的な安定 」 「 B 誇りがある 」	芦北
[類型] 「 D 将来に不安がない 」 「 C 経済的な安定 」 「 A 夢を持っている 」 「 B 誇りがある 」	宇城

問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

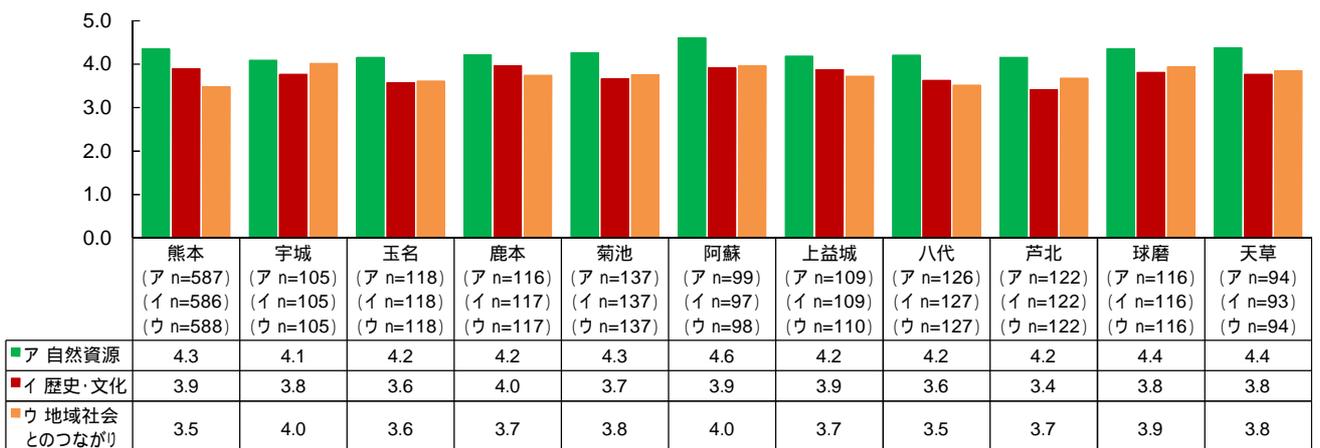
“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を地域別に比較した。

A 夢を持っている



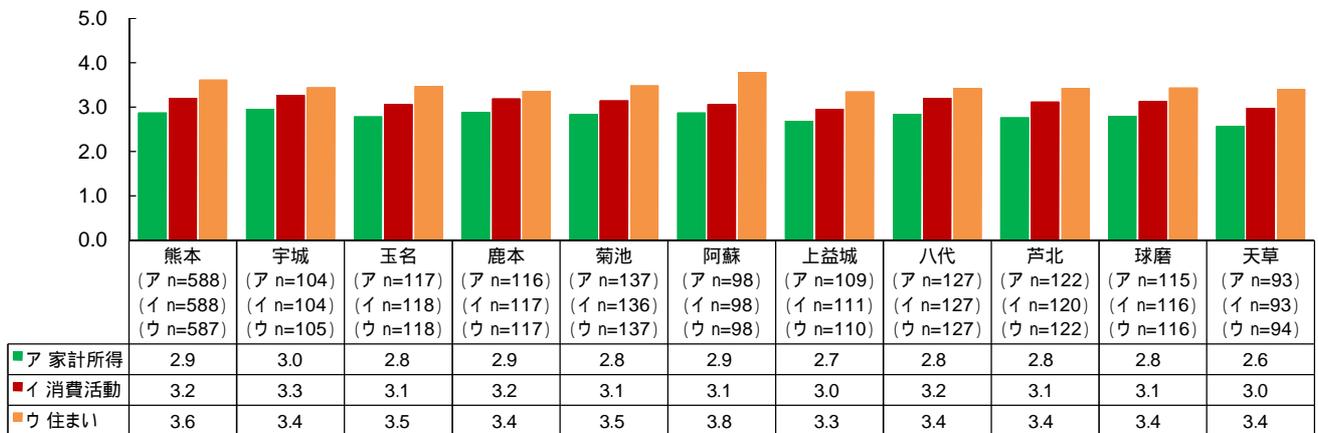
- 「家族関係」では、阿蘇、天草、菊池が4点台で他と比べやや高い。
- 「仕事関係」では、阿蘇が3.3で他と比べやや高いが大きな差はみられない。
- 「教育関係」では、玉名、八代、芦北が2.8でやや低いが、大きな差はみられない。

B 誇りがある



- 「自然資源」では、すべての地域で4.0を超え高いが、阿蘇が4.6で特に高い。
- 「歴史・文化」では、鹿本が4.0で最も高く、芦北が3.4で低い。
- 「地域社会とのつながり」では宇城と阿蘇が4.0でやや高く、熊本と八代が3.5でやや低い。

C 経済的な安定

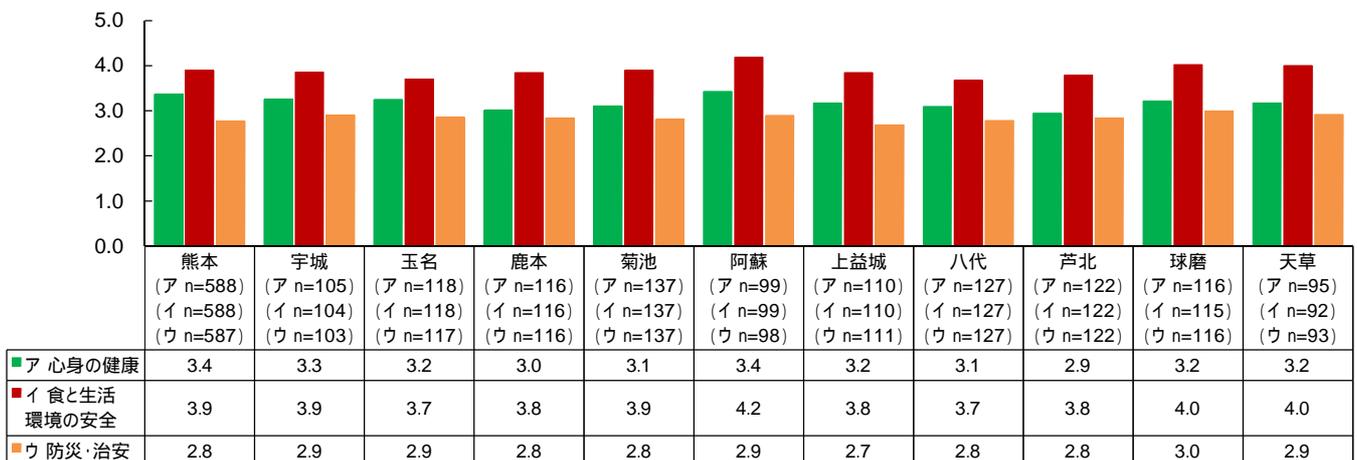


「家計所得」では、宇城が3.0で最も高く、天草が2.6で最も低い。

「消費活動」では、宇城が3.3で最も高く、上益城と天草が3.0で低い。

「住まい」では、阿蘇が3.8で特に高く、次いで熊本が3.6の順。上益城が最も低く3.3。

D 将来に不安がない

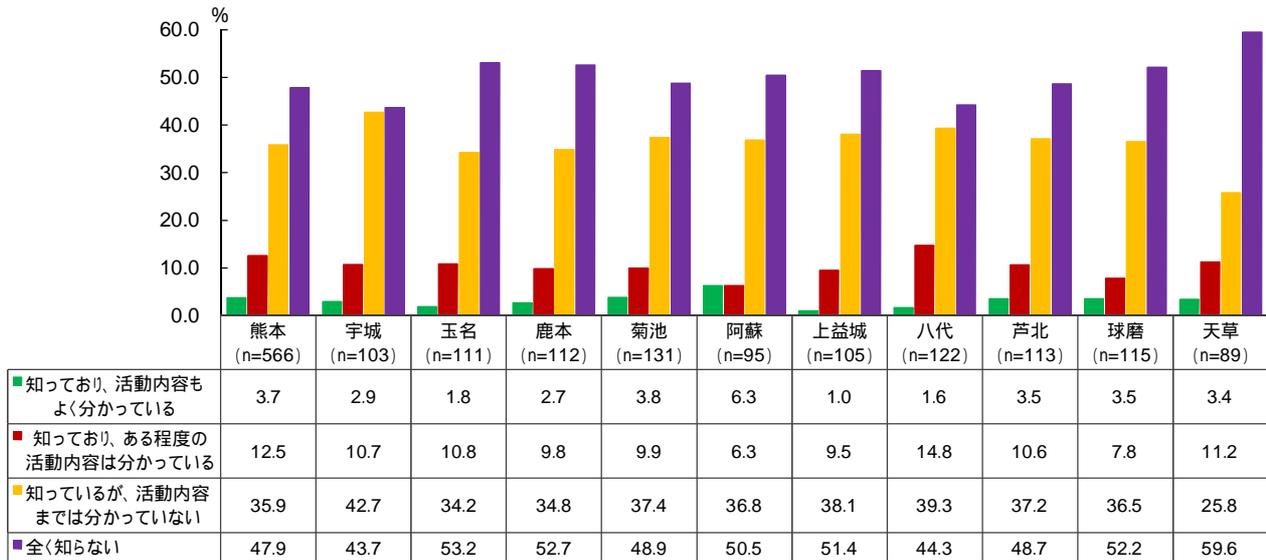


「心身の健康」では、熊本と阿蘇が3.4で最も高く、芦北が2.9で最も低い。

「食と生活環境の安全」では、阿蘇が4.2で特に高く、玉名と八代が3.7で他地域と比べやや低い。

「防災・治安」では、球磨が3.0で最も高く、上益城が2.7で最も低い大きな差はみられない。

問8 「しあわせ部」の活動の認知度について

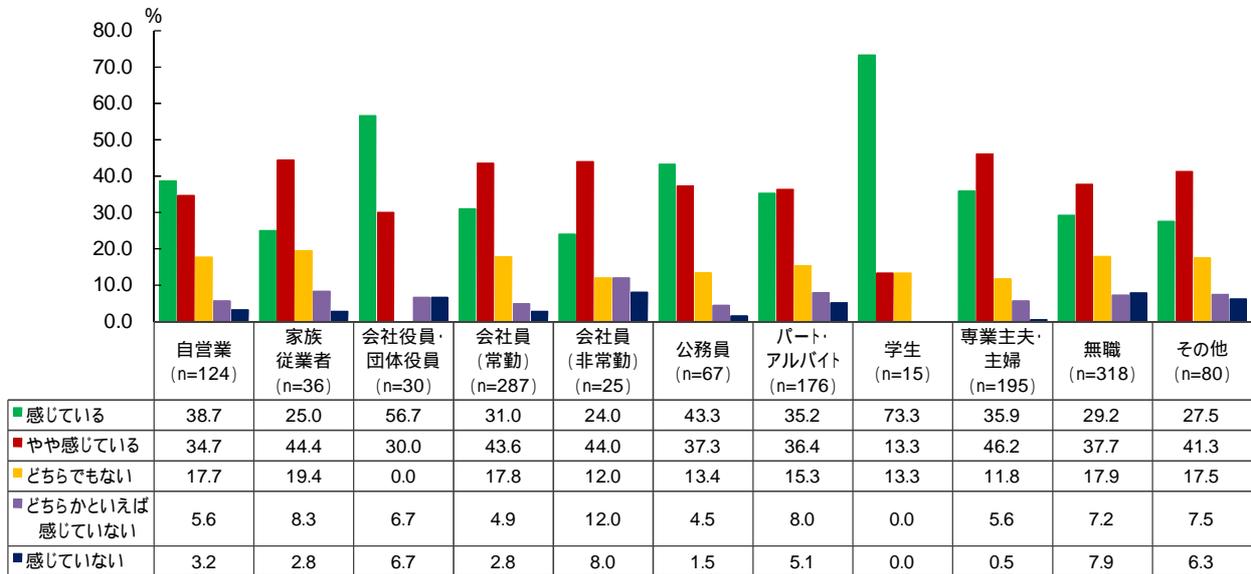


「しあわせ部」の活動内容についての認知度は、八代が16.4%、熊本が16.2%で、他地域と比べやや高く、上益城が10.5%で低い。

また、「知っているが、活動内容までは分かっていない」を含めた「しあわせ部」の存在について“知っている”人の割合は、宇城が56.3%、八代が55.7%で高く、天草が40.4%で最も低い。

職業別

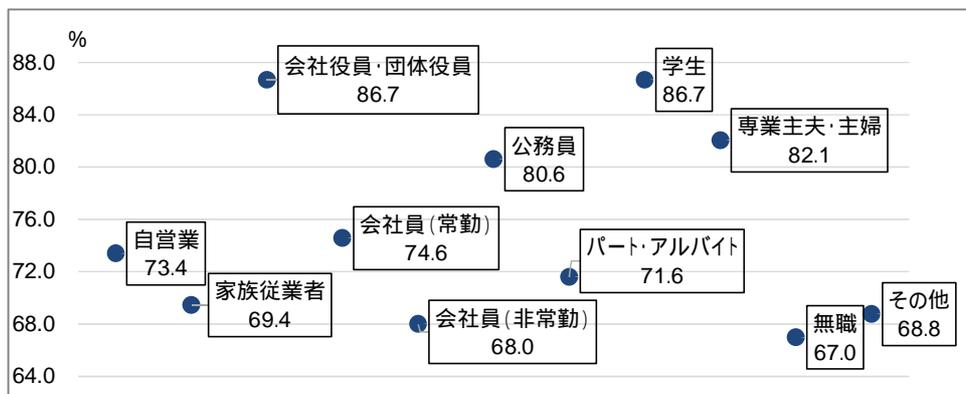
問1 直観的な幸福度について



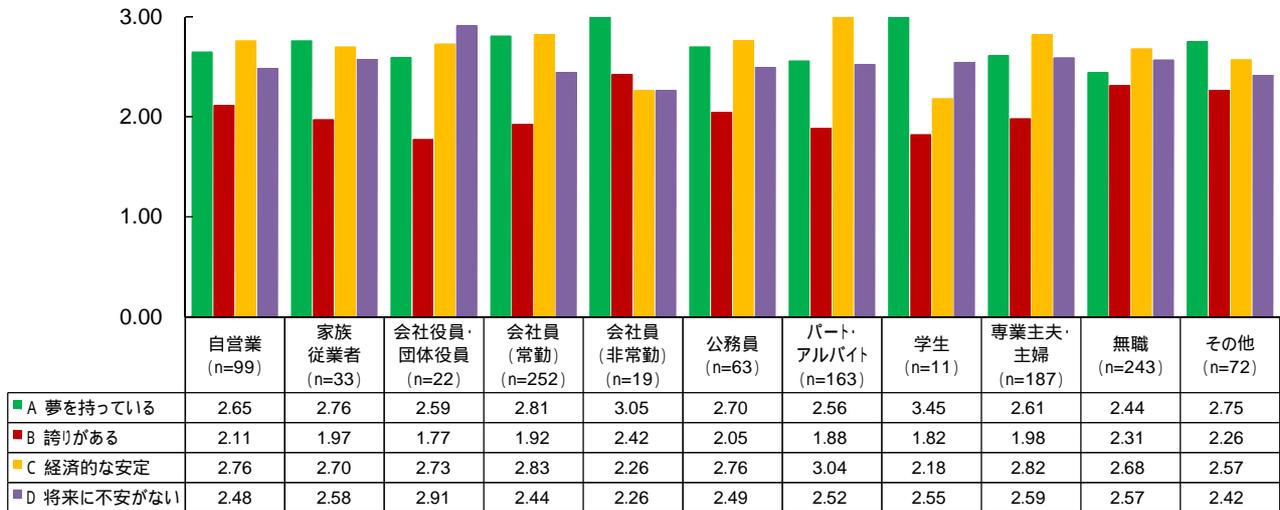
「感じている」と回答した人の割合は、対象者数は少ないが学生が73.3%、会社役員・団体役員が56.7%でともに半数を超える。

また、「感じている」と「やや感じている」を合わせた「幸福」だと感じている割合は、会社役員・団体役員、学生、専業主夫・主婦、公務員が80%台で高い。無職、その他、会社員（非常勤）、家族従業者は60%台にとどまる。

【職業別にみた「幸福」だと感じている割合】



問2 “4つの分類”のウエイト(重要度)について



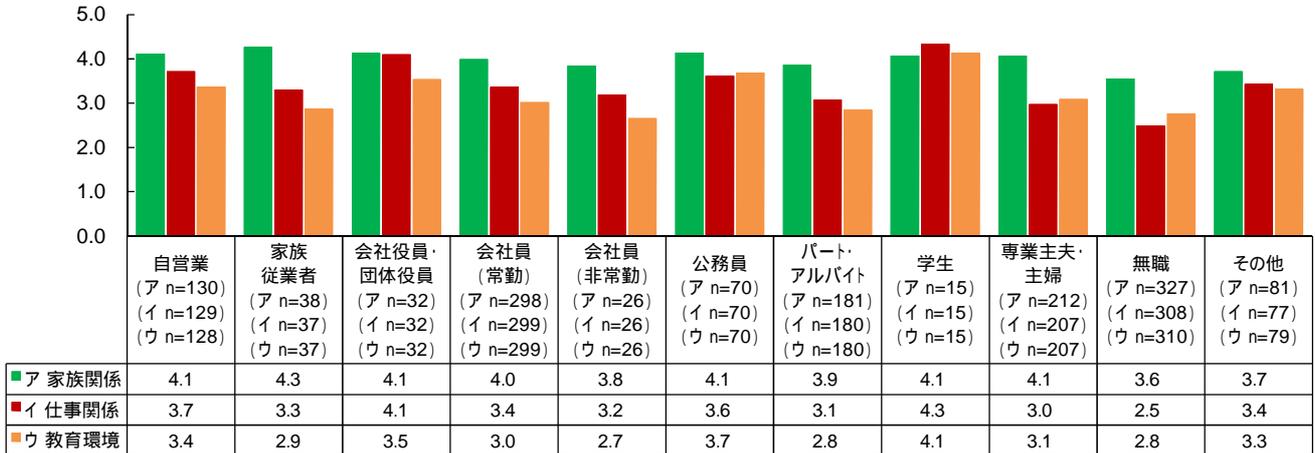
ウエイトの高さの順に職業別に整理すると、下表のようになった。

類 型	職 業
[類型] 「 A 夢を持っている 」 「 C 経済的な安定 」 「 D 将来に不安がない 」 「 B 誇りがある 」	家族従業者 その他
[類型] 「 C 経済的な安定 」 「 A 夢を持っている 」 「 D 将来に不安がない 」 「 B 誇りがある 」	自営業 会社員(常勤) 公務員 パート・アルバイト 専業主夫・主婦
[類型] 「 C 経済的な安定 」 「 D 将来に不安がない 」 「 A 夢を持っている 」 「 B 誇りがある 」	無職
[類型] 「 A 夢を持っている 」 「 D 将来に不安がない 」 「 C 経済的な安定 」 「 B 誇りがある 」	学生
[類型] 「 D 将来に不安がない 」 「 C 経済的な安定 」 「 A 夢を持っている 」 「 B 誇りがある 」	会社役員・団体役員
[類型] 「 A 夢を持っている 」 「 B 誇りがある 」 「 C 経済的な安定 」 = 「 D 将来に不安がない 」	会社員(非常勤)

問3 “12の項目”に対する満足度（実感や考え）について

“4つの分類”ごとに、各項目の満足度の平均値を職業別に比較した。

A 夢を持っている

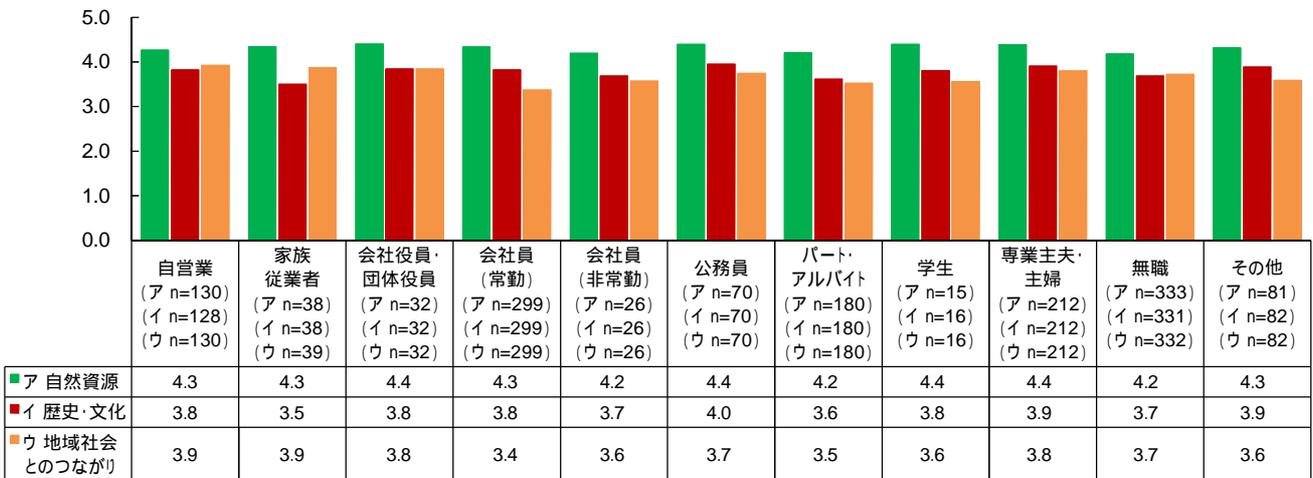


「家族関係」では、家族従業者が4.3で高く、無職が3.6で低い。

「仕事関係」では、学生が4.3、会社役員・団体役員が4.1で特に高く、逆に無職が2.5、専業主夫・主婦が3.0で特に低い。

「教育関係」では、学生が4.1、公務員が3.7で高く、会社員（非常勤）が2.7、パート・アルバイトと無職が2.8、家族従業者が2.9で低い。

B 誇りがある

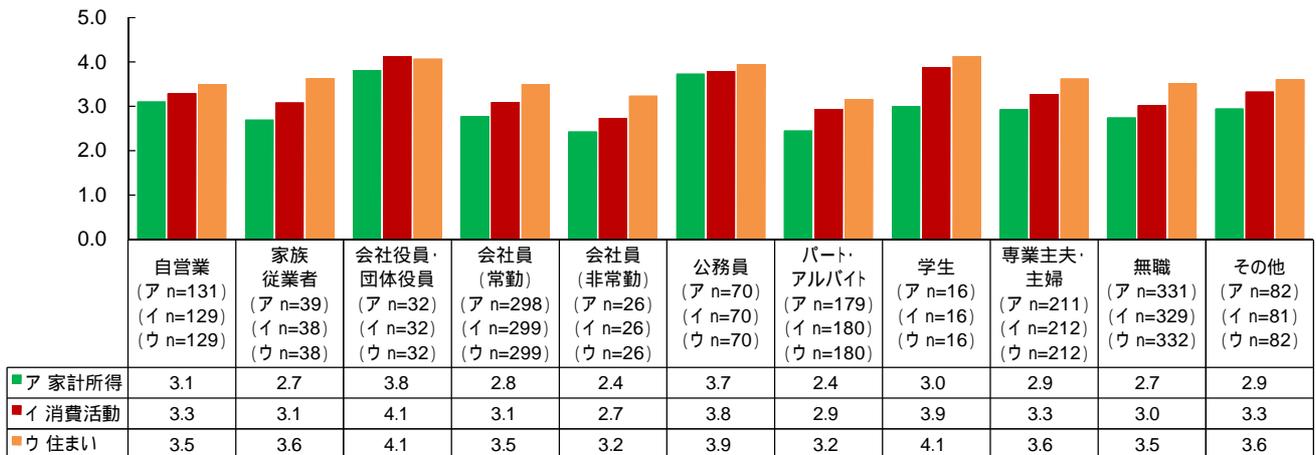


「自然資源」では、すべて4.2～4.4で大きな差はみられない。

「歴史・文化」では、公務員が4.0で最も高く、家族従業者が3.5で最も低い。

「地域社会とのつながり」では、「会社員（常勤）」が3.4で他と比べ低い。

C 経済的な安定

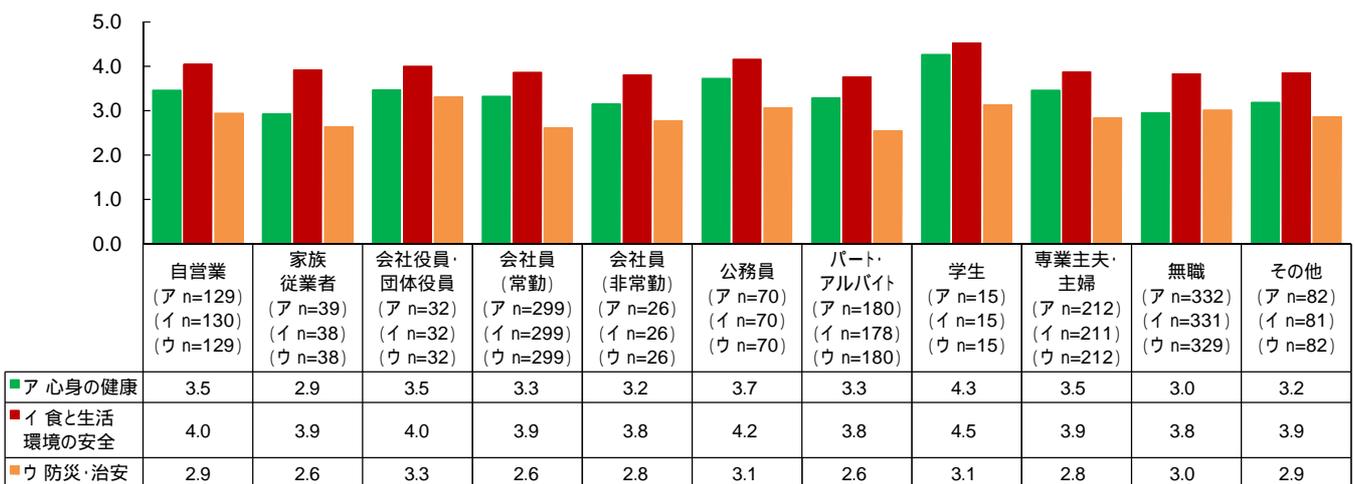


「家計所得」では、会社役員・団体役員が3.8、公務員が3.7で他と比べ高く、会社員（非常勤）とパート・アルバイトがともに2.4で低い。

「消費活動」では、会社役員・団体役員が4.1で高く、会社員（非常勤）が2.7、パート・アルバイトが2.9で低い。

「住まい」では、会社役員・団体役員と学生がともに4.1で高く、会社員（非常勤）とパート・アルバイトがともに3.2で低い。

D 将来に不安がない

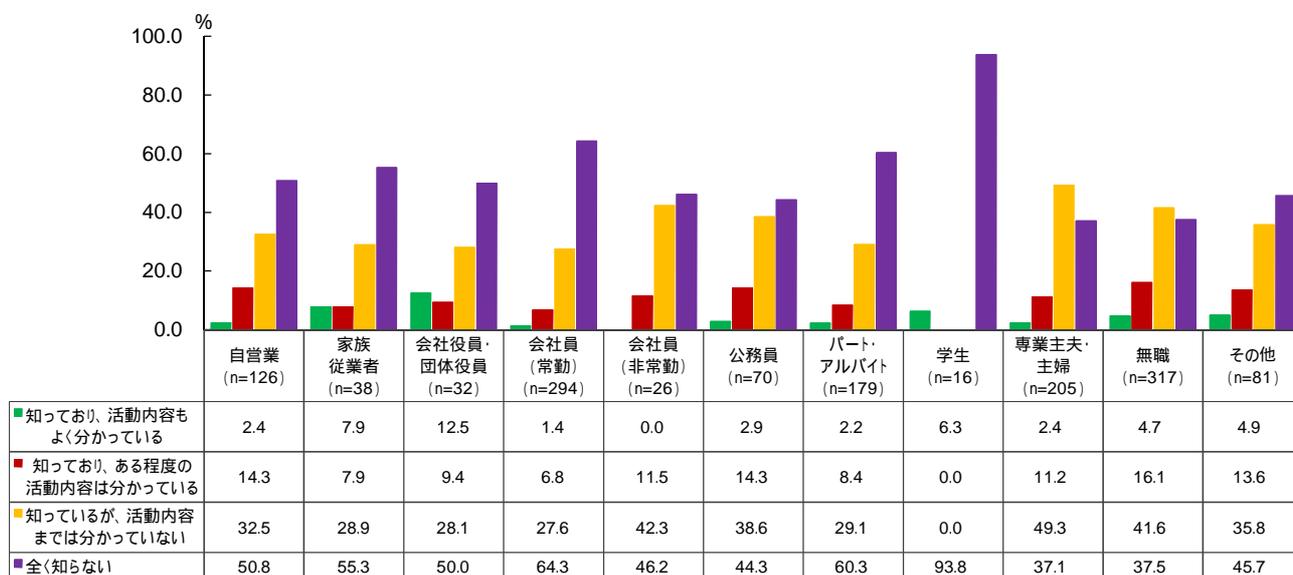


「心身の健康」では、学生が4.3、公務員が3.7で高く、家族従業者が2.9で低い。

「食と生活環境の安全」では、学生が4.5、公務員が4.2の順。

「防災・治安」では、会社役員・団体役員が3.3で最も高く、家族従業者、会社員（常勤）、パート・アルバイトがともに2.6で低い。

問8 「しあわせ部」の活動の認知度について



「しあわせ部」の活動内容についての認知度(「知っており、活動内容もよくわかっている」+「知っており、ある程度の活動内容は分かっている」)は、会社役員・団体役員が21.9%、無職が20.8%の順で高い。逆に、会社員(常勤)が8.2%、学生が6.3%で低い。

また、「知っているが、活動内容までは分かっていない」を含めた「しあわせ部」の存在について“知っている”人の割合は、専業主夫・主婦が62.9%、無職が62.4%で高い。逆に、学生が6.3%、会社員(常勤)が35.8%、パート・アルバイトが39.7%で低い。

まとめ

クロス集計の結果について、まとめると以下ようになる。

ア 男女別

直観的な幸福度については、「幸福」を感じている（「感じている」＋「やや感じている」）人の割合は女性が76.6%、男性が69.5%で女性が男性を上回る。これは前年度、前々年度とも同様に女性が上回る結果となっている。

4つの分類のウエイトについては、男女とも「経済的な安定」「夢を持っている」「将来に不安がない」「誇りがある」の順で大きい。

12の項目の満足度については、ほとんどの項目が同点か女性が0.1ポイント上回るが、「夢を持っている」の「仕事関係」と「将来に不安がない」の「防災・治安」では男性が上回る。

「しあわせ部」の活動内容の認知度は、男性が16.3%、女性が13.5%で男性が若干上回る。「しあわせ部」の存在について“知っている”人は男女とも50%程度。

イ 年齢階層別

直観的な幸福度については、「幸福」を感じている人の割合は30歳代が74.9%で最も高いが、すべての年代が70%台で大きな差はみられない。

4つの分類のウエイトについては、20～30歳代の若年代層では、「夢を持っている」の重要度が最も高く、次いで「経済的な安定」が続く。40歳代では、逆に「経済的な安定」が最も高く、「夢を持っている」が続く。50歳代以上では、「経済的な安定」に次いで「将来に不安がない」が続く。

12の項目の満足度については、「夢を持っている」では、「家族関係」は30歳代と40歳代が高く、「仕事関係」は20歳代と30歳代の若年層が高く、70歳以上が低い。「教育関係」は20歳代が高く、70歳以上がやや低い。

「誇りがある」では、「自然資源」はすべての年代で同様に高く、「歴史・文化」は40歳代、「地域社会とのつながり」は60歳以上の高年層で高い。

「経済的な安定」では、「家計所得」は20歳代と30歳代の若年層が低く、「消費行動」は大きな差はみられない。「住まい」は70歳以上が高く、50歳代が低い。

「将来に不安がない」では、「心身の健康」では20歳～40歳代の中若年層が高く、「食と生活環境の安全」では大きな差はみられない。「防災・治安」では70歳以上が高く、他の年代は低い水準にとどまる。

「しあわせ部」の活動内容の認知度は、20～50歳代が10%未満、60歳代が10%台、70歳以上が20%台。「しあわせ部」の存在について“知っている”人の割合は20歳代と30歳代が20%台、40歳代と50歳代では40%台、60歳以上では60%台で、高年層ほど高くなる。

ウ 地域別

直観的な幸福度については、「幸福」を感じている人の割合は、菊池が81.3%、阿蘇が78.5%で高く、八代が64.5%、上益城が64.8%で低い。

4つの分類のウエイトについては、玉名、阿蘇、上益城、天草では「夢を持っている」「経済的な安定」の順で高く、鹿本、菊池、八代、球磨では逆に「経済的な安定」「夢を持っている」の順で高い。また、熊本では「経済的な安定」に次いで「将来に不安がない」が続き、芦北では「夢を持っている」「将来に不安がない」の順、宇城では「将来に不安がない」が最も高く「経済的な安定」が続く。

12の項目の満足度については、「夢を持っている」では、「家族関係」で阿蘇、天草、菊池がやや高く、「仕事関係」と「教育関係」では地域間で大きな差はみられない。

「誇りがある」では、「自然資源」で阿蘇、「歴史・文化」で鹿本、「地域社会」で宇城、阿蘇が高い。

「経済的な安定」では、「家計所得」と「消費行動」では宇城が最も高く、「住まい」では阿蘇が最も高い。

「将来に不安がない」では、「心身の健康」と「食と生活環境の安全」で阿蘇が高く、「防災・治安」で球磨が高い。

「しあわせ部」の活動内容の認知度は、八代と熊本がやや高く、上益城が低い。「しあわせ部」の存在について“知っている”人の割合は宇城、八代が高く、天草が低い。

エ 職業別

直観的な幸福度については、「幸福」を感じている人の割合は、会社役員・団体役員、学生、専業主夫・主婦、公務員が80%台で高い。無職、会社員（非常勤）、その他、家族従業者は60%台にとどまる。

4つの分類のウエイトについては、家族従事者、会社員（非常勤）、学生、その他では「夢を持っている」が最も高く、自営業、会社員（常勤）、公民員、パート・アルバイト、専業主夫・主婦、無職では「経済的な安定」、会社役員・団体役員では「将来に不安がない」が最も高い。

12の項目の満足度については、「夢を持っている」では、「家族関係」で家族従事者、「仕事関係」で学生と会社役員・団体役員、「教育関係」で学生、公務員が高い。

「誇りがある」では、「歴史・文化」で公務員が高い。

「経済的な安定」では、「家計所得」で会社役員・団体役員と公務員が高く、「消費活動」で会社役員・団体役員、「住まい」で会社役員・団体役員と学生が高い。

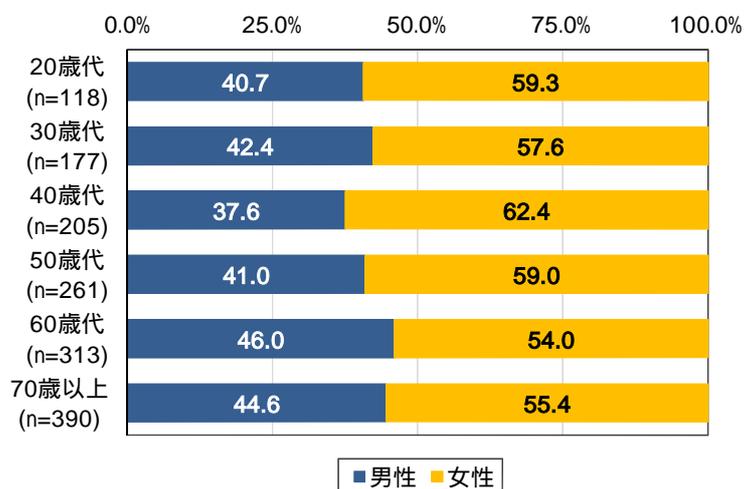
「将来に不安がない」では、「心身の健康」と「食と生活環境の安全」で学生と公務員が高く、「防災・治安」で会社役員・団体役員が高い。

「しあわせ部」の活動内容の認知度は、会社役員・団体役員と無職が20%台で他と比べ高く、会社員（常勤）と学生が10%未満で低い。「しあわせ部」の存在について“知っている”人の割合は専業主夫・主婦と無職が60%台で高く、学生、会社員（常勤）、パート・アルバイトが低い。

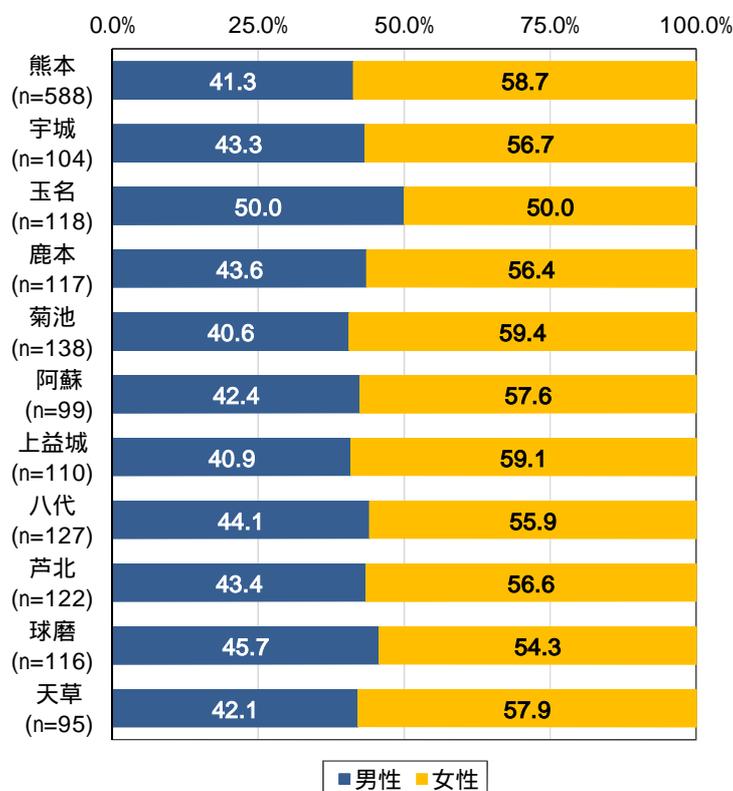
(3) 属性

問 4 男女別

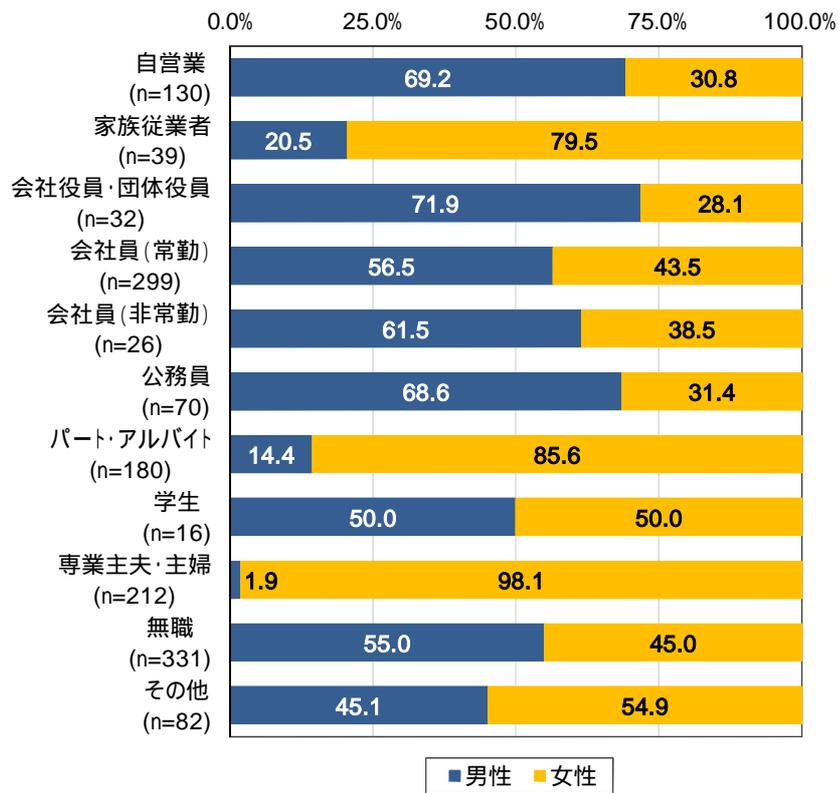
年齢階層別



地域別

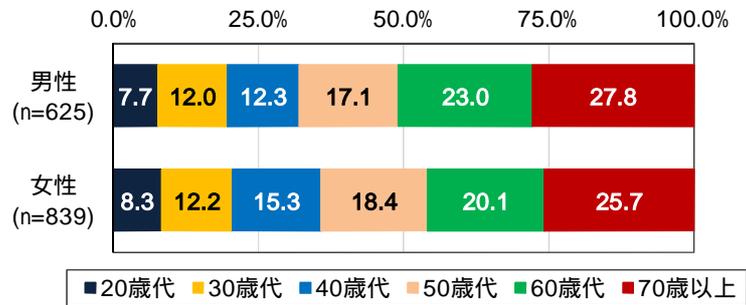


職業別

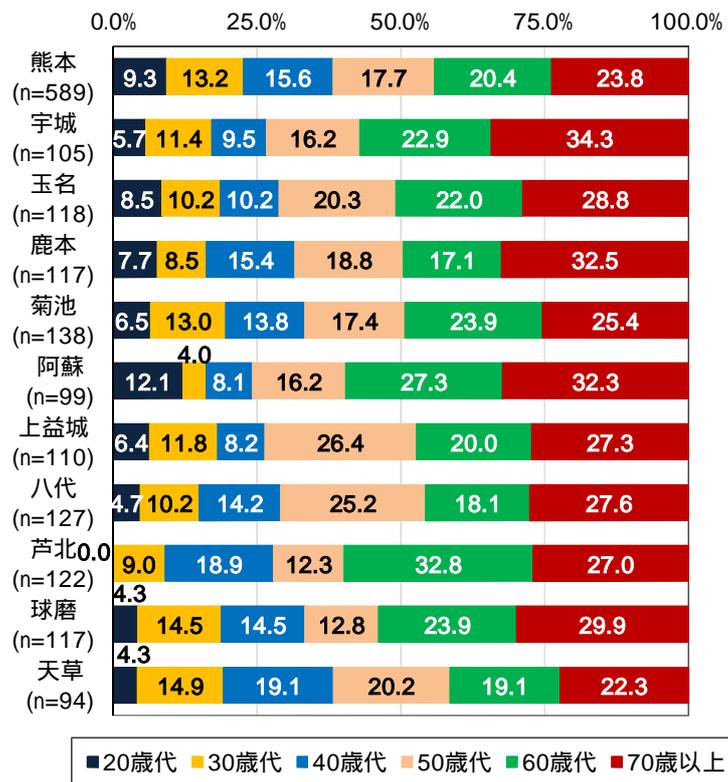


問5 年代

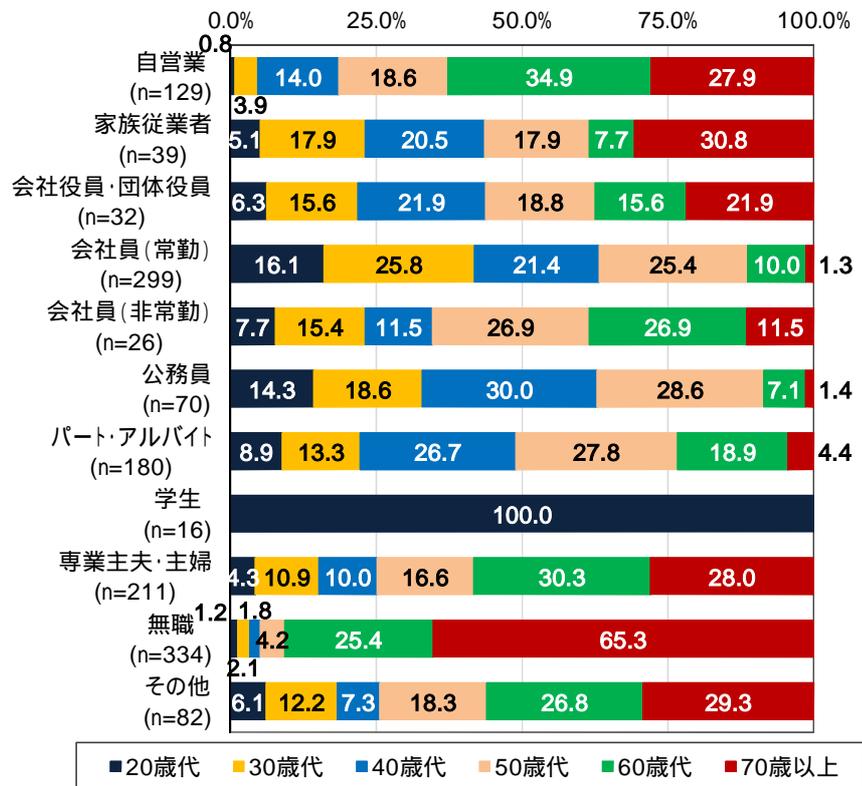
男女別



地域別

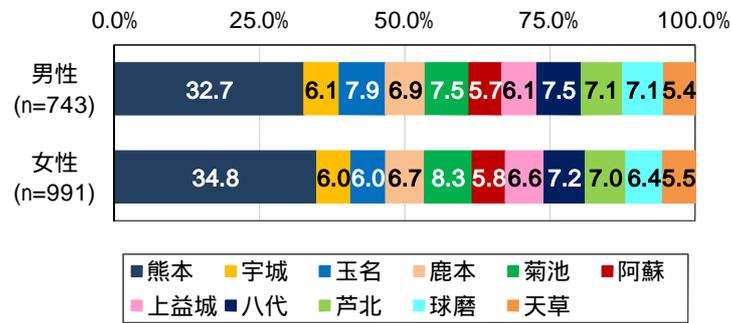


職業別

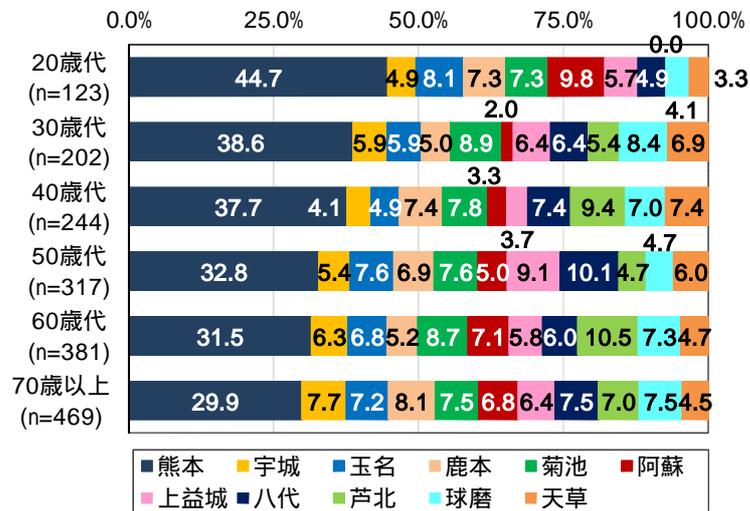


問6 お住まいの地域

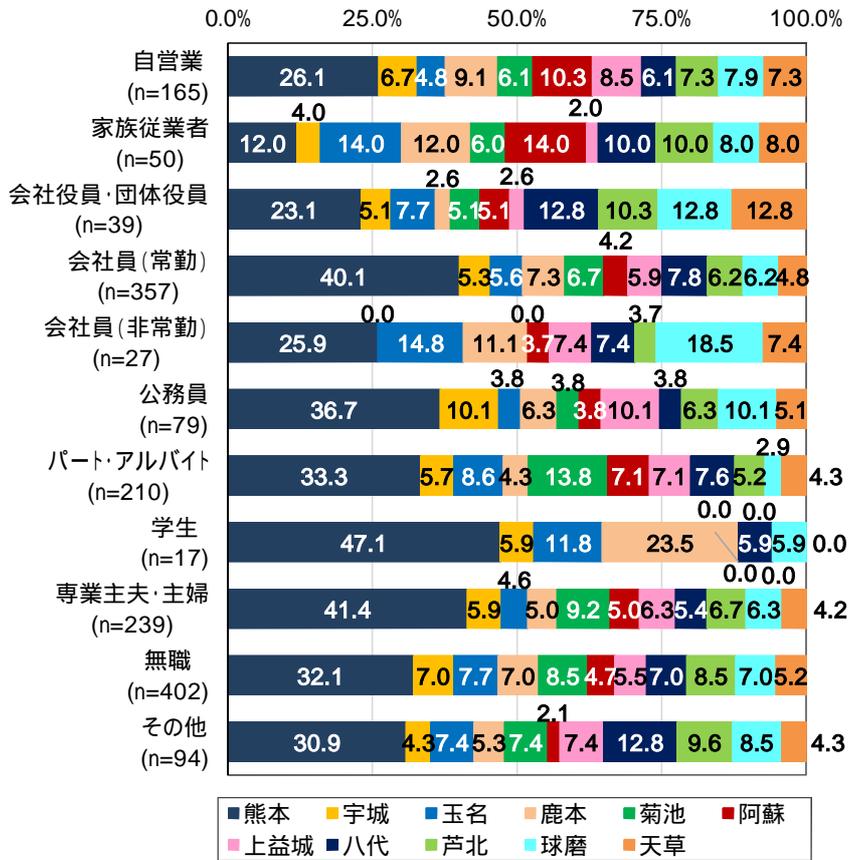
男女別



年齢階層別

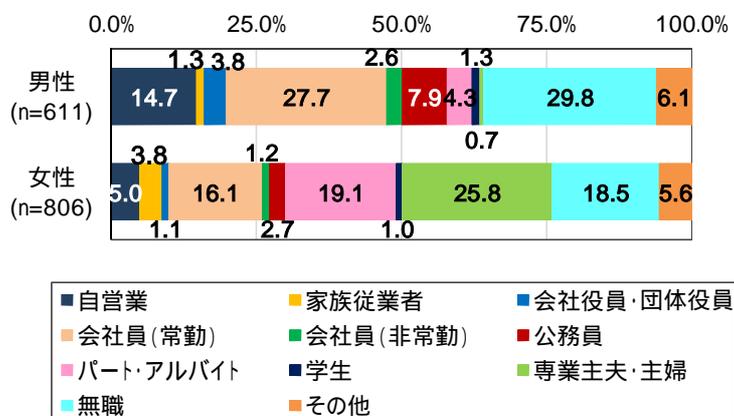


職業別

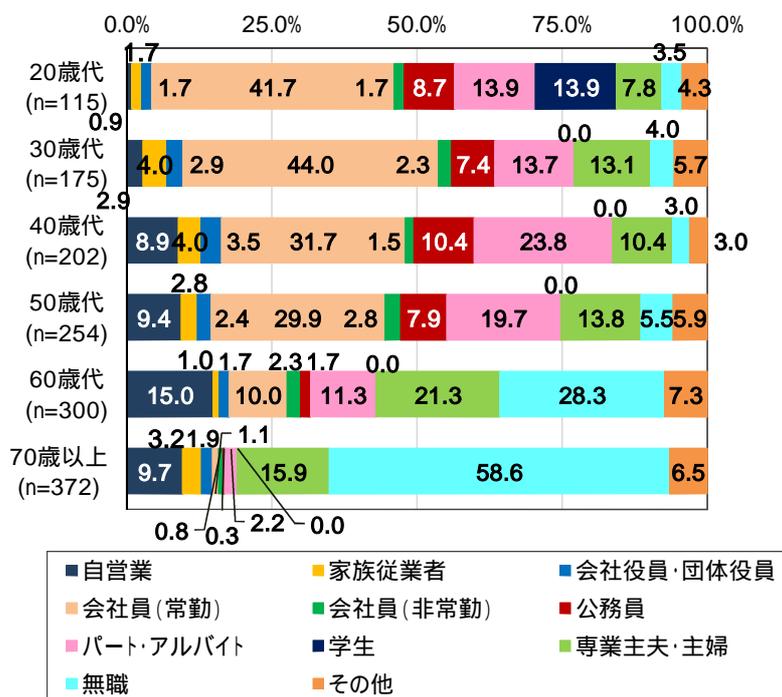


問7 職業

男女別



年齢階層別



地域別

